

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (1/42ページ)

都市計画マスタープラン骨子案に関するパブリックコメントを実施しました。

結果概要 意見募集期間：平成27年8月21日(金)～平成27年9月18日(金)
 募集方法：郵便、ファクシミリ、持参、市ホームページからの電子申請
 募集結果：意見提出者数143通 意見数487通

【大学生からの意見】

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
1-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市の人口減少等の傾向を見れば、都市計画は必要になるので賛成です。市街地の低密度化は、地域社会にとって大きな打撃になり、孤独死等の問題が増加するので、集約的なまちづくりでの対策は、大きな課題だと思います。
1-2				○集約連携型都市構造について	集約によって、維持管理の費用や手間が省けることと、集約した都市を公共交通機関によってネットワーク化することは賛成です。ただ、集約化によって人間相互の不和がおこりやすくなることもありえるのではないかと思います。また、多様なライフスタイルが可能であるのはとても魅力的です。
1-3				○区別構想について	暮らしの拠点において、高齢化の問題もあるので、病院の充実はしっかりやってもらいたいと思います。商業と病院が充実すれば十分だと思います。
1-4				○その他	少子高齢化があまりにも大きく、これにどう対処するのかという面で、コンパクトシティのような集約化は、財政や人間孤立化を改善でき、さらに多様なライフスタイルも可能ということで期待しています。
2-1	男性	沼津市大岡	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちづくりを行う事がまちづくりの理念だと思う。静岡市は現在、人口が大幅に減少している。人口を増加させるために、子育て支援を強化して、子育て世代を静岡に転入させる必要があると私は強く考えている。
2-2				○集約連携型都市構造について	ゆとりある良好な住環境を維持して市民一人一人が安心して暮らすことができる街を構築する必要があると私は考えている。そのために、市民一人一人のニーズに応え、利便性の高い市街地を形成することが望ましいと思う。
2-3				○区別構想について	子供からお年寄りまで安全で安心して暮らせるまちづくりを行う事が必要だと私は考える。地域産業を振興したり、防災対策を行う必要があると思う。市民が自然災害に巻き込まれないように防災教育を推進する事が望ましいと私は考えている。
2-4				○その他	良好なまちづくりを行うために最も必要な事は市民のニーズに応える事だと私は強く考えている。市民一人一人が求めている事を理解し創意工夫してまちづくりを行う必要があると思う。コミュニケーション能力を高める事で、将来幅広い分野で活躍出来る公務員になろうと私は強く考えている。
3-1	女性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡の人口減少は避けられない問題である、今後どのような政策をしていくのか重要だと感じました。静岡市が今後の市のために都市計画を考えていたことも知らなかったので少し安心しました。しかし、この計画は今進んでいるのか？将来必ず実現させるのか？夢物語で終わっていますのかな？という不安も私の中で出てきました。
3-2				○集約連携型都市構造について	私は、今現在おそらくバス利用圏で多様な居住というゾーンに住んでいますが、バス停は家から近くないし、そもそも街まで行くルートが遠回りなので全く利用したいとは思いません。交通機関が充実しても遠回りルートである場合、市民は利用したいと感じるのか疑問に思いました。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (2/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
3-3				○区別構想について	区の特徴を生かしたり、短所を改善させたりすることは必要だと思うのでとても良いことだと思います。区によって生活様式や町の雰囲気はそれぞれ異なると思うので色々なニーズに目を向けることでよりよいまちづくりになると感じました。
3-4				○その他	—
4-1	女性	島田市岸町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市を取り巻く問題を放置し続けると、急速な衰退が予想される。若者がどんどんまちづくりに参加し、予想よりも、人口減少を減らせるようにしたい。
4-2				○集約連携型都市構造について	自動車に依存しない都市はないと思う。年齢、職業などに関係なく、平等に公共交通機関を利用したい。そのためには、低い乗車料金で気軽に行けるところに作ってほしい。集約化拠点に力を入れすぎると、便利さを人々は優先してしまい、田園風景や自然環境が失われてしまう危険があると考えている。
4-3				○区別構想について	それぞれの区によって、違った特徴を持っており、人々のニーズによってまちを発展させることができると思う。また、区内はもちろんお互いの区を行き来できる充実した公共交通があれば、魅力が伝わりやすい。
4-4				○その他	—
5-1	女性	藤枝市世左衛門	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	私の家族も近くのスーパーからどこかへ遠出する時まで、移動手段はほぼ車です。通学する際に公共交通機関を利用するのみです。その点において、この静岡都市マスタープランは移動手段から車はずすというものでとても新鮮でした。
5-2				○集約連携型都市構造について	私は人がゴミゴミしている所よりも、ある程度落ち着いていてそれでも交通に不便がないような所に住みたいと思っているので、ライフスタイルに応じたゾーンがあるこの集約連携型都市構造についてはとてもよいと思います。ただ三保の松原は津波防止用のブロックやごみの所為で景観を損ねていると思うので、その点を改善すべきだと思います。
5-3				○区別構想について	これから将来的に若い人が減り、高齢者が増える中で、500メートル圏内にするというのは良いと思います。しかし高齢者はやはり歩くのはつらいと思うのでバスを利用するのに不便がないようにしていただきたいです。料金もそうですが、予定の時刻を大幅に遅れてしまうことがあるのでその点を重点的にお願いしたいです。
5-4				○その他	私は今までこのような都市計画プランを考えていることを知らなかったので具体的な方針や町の構造を知って少し興味がわきました。静岡市は税金が高く、足による投票が不利だと思いますが、それを補って余りある都市にしたいです。
6-1	女性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市は人口流出が激しいと新聞で見た。今日のお話でも少子高齢化がこれから進んでいくと聞き、町の形も変えていかなければ対応できないのだと感じた。
6-2				○集約連携型都市構造について	現在、自分が住んでいる所は、街に近い方だと思うのだがバス停に行くのにも時間がかかり、車がなければ不便だ。この都市構造が実現したら非常に理想的で快適な生活ができる。
6-3				○区別構想について	駿河区は葵区よりも生活感があると思う。普通のスーパーやアピタ、ヨーカドー等はあるが「買い物に行こう」となるとどうしても葵区に出かけることになる。駿河区にも葵区のような施設がほしいと思う。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (3/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
6-4				○その他	三島市に100円定額の小型バスがあり、広範囲の移動が可能で、地域の人が多く利用していた。導入してみても面白いと思う。静岡市はできあがった町のように感じるから都市構造を変えるのは難しいことだと思うが実現したら嬉しい。
7-1	女性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	公共交通機関を使って自動車への依存度をへらすため、コンパクトなまちづくりというものは、実際私も静岡の街中に来るのにとっても不便であるので、実現してほしいと思いました。
7-2				○集約連携型都市構造に ついて	自動車への依存度を減らすと書いてあったけど、私の住んでいる地域では最寄りの駅まで歩いて25分以上かかるのに、バスが1時間に1本しか出てなく、自動車へとても依存してしまっているの、できるだけそのような整備をきちんとしてほしいです。
7-3				○区別構想について	私は清水区に住んでいて葵区などに比べるとやっぱり活気があんまりないということを感じているので、海や港など、あるものを活かして活気のある街を作してほしいと思います。
7-4				○その他	—
8-1	男性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	安全・安心に生活できるまちづくりとスムーズな交通アクセスについて、都市拠点に信号機が多くなることにより安全が確保できているが、渋滞ができてしまうことがあるのでバランスをとるべき。
8-2				○集約連携型都市構造に ついて	ゆとりある市街ゾーンにもう少し公共交通軸を通らせるべきである。
8-3				○区別構想について	東静岡駅に建物が発達しているのでそこをもっと活用すべきである。道路を整備して交通アクセスを簡単にしてほしい。
8-4				○その他	静岡市駿河区はとても便利で安全だと思うが、清水区は道路がせまく感じるの、広くするとよりよい交通アクセスと安全がとれると感じている。
9-1	男性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	現時点では静岡市には魅力がないと思う。なので人口減少を止めるためには魅力あるまちをつくる必要がある。
9-2				○集約連携型都市構造に ついて	コンパクトシティを作る動きは全国区にあるが、これが達成されるだけでは問題は解決されないと思う。都市が元気になるためには産業や文化の発展が必要だと思う。
9-3				○区別構想について	暮らしの拠点から離れた場所に住む人々の生活が気になる。
9-4				○その他	具体的にどのようにエリアを形成していくのかが分からないので、実現するイメージが思い浮かばなかった。
10-1	男性	焼津市小川新町	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	役所の人とそれに興味関心のある人たちだけでまちづくりをやっていても、市民の望むまちはできない。知らない人は興味がないから自発的に調べていないので、積極的に広報をして市民が一丸となってまちづくりをするべき。
10-2				○集約連携型都市構造に ついて	拠点として選ばれた地域やその周辺についてはテコ入れがあるだろうが、それ以外の地域に対してのケアや対策を講じて、市内に格差が大きくないようにするべきだと思う。
10-3				○区別構想について	—
10-4				○その他	—
11-1	男性	菊川市下平川	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	徒歩や自転車などで街中で用事を済ませることができるコンパクトなまちづくりをしていくことでこれから高齢化や人口減少などしていくなかでも対応していくことができると思います。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (4/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
11-2				○集約連携型都市構造について	ゾーンごとにその地域に適したライフスタイルの形成によって、その土地の特色ある文化や風習を守っていくこともできると思います。
11-3				○区別構想について	それぞれの区ごとに特徴があるのでそれを活かしたまちづくりを進めていく事は重要だと思います。
11-4				○その他	歩道とは別に自転車道を整備してほしい。歩道に自転車が通るのが大変危険に感じるため。
12-1	男性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	人口流出に歯止めをかけることは大変な事だと思いますが早急な対応をお願いしたいと思います。一方で外部から人を呼ぶことは新たに問題を生む一因となるようにも感じます。バランスの良い対応を望みます。
12-2				○集約連携型都市構造について	車に頼らない生活を実現することは難しいと思いますが、良いと思います。公共交通機関(主にバス路線の少なさ)をより充実させることは、日々の生活でも大変役に立つことだと思いますので検討して頂きたいです。
12-3				○区別構想について	私は清水区に住んでいますので、清水区の区別構想について感じたことを書きたいと思いますが、構想案を見ると都市・地域・産業などの拠点が清水港周辺に集中している所に東海地震の際の津波等への対策などの点で疑問を感じました。駅があるという点から仕方ないことかもしれませんが、こういった対策についての記載もあった方が良いと思います。
12-4				○その他	現在のバス路線がカバーできている範囲は少なく、それが車への依存へとつながっていると思います。路線を単純に増やすことで解決できる問題ではないかもしれませんが、検討をお願いしたいです。
13-1	男性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	だいたい今の市民ニーズに合っていると思います。ですが「住みやすい」という考えだけでは東京などの都市に負けます。私の友人もそうでしたが、静岡には大学が少ないため、やむをえず県外に出る若者がいます。学校を誘致しても、良いと思います。「学力の向上」も目標に加えても良いじゃないですか。
13-2				○集約連携型都市構造について	東京のように都市機能と住居エリア・自然をどう分けることは、県の状態に合っていて素晴らしい考えだと思います。自動車に頼りがちな県民の思考をうまく変化させれば、より良い町になると思います。県の出すCO2量を、県民に表示するのはどうでしょうか。私は今までそのことを知りませんでしたし。
13-3				○区別構想について	上に書いたとおり、学校も重要な暮らしの拠点です。特に若い人々にとっての学校は、暮らしの中心となりうる場所です。学校への交通ルートを増やせば、もと良い構想となると思います。
13-4				○その他	—
14-1	男性	富士市中野	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	都市部に人口を集約したまちづくりについては、これから高齢化が進んでいくなかで重要なものであると思う。
14-2				○集約連携型都市構造について	主要な都市部や主要道路付近に人を集約し、そこに施設をあつめていくことは都市部に住む人にとっては利便性がまずことだと思うが、都市部を苦手や嫌いとする人にとってこの集約連携型都市構造がはたしていいものなのか疑問に思う。だれしもが都市部を好み狭苦しく集約された利便性を求めているわけではないと思う。
14-3				○区別構想について	区別構想についても目指している都市構造からして、山間部に住む人や集約された都市部から離れた場所に住む人についても、便利な生活が送れるのか疑問に思う。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (5/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
14-4				○その他	様々な人の考え、意見が存在しているなかで、うまいおとしどころを見つけられたらと思う。
15-1	女性	牧之原市勝田	—	○まちづくりの理念と目標 について	静岡市は今、人口減少や少子高齢化など他にも様々な問題を抱えています。そのためあらたな時代にあった将来像やまちづくりの方針を示す計画は今の静岡市には必要なことばかりだと思う。
15-2				○集約連携型都市構造に ついて	とてもいい案だと思います。バラバラの位置にあると交通が不便なのでやはり集約した構造の方がいいと思う。生活するのに遠い場所に有るとやはりお金もかかるので近い場所に有った方が良く思う。集約連携型都市になることによって人口流出も防げ、人も来るようになるだろう。
15-3				○区別構想について	それぞれの区により特色を生かした目標がありすばらしいと思った。生活していく上でやはり安全安心もそうだし、公共交通の充実も地域によってやはり求めるものは違うのだから区別し構想することは大事だと思う。
15-4				○その他	静岡市は牧之原市出身の私から見ると充実している方だと思っていたが、確かにこれより交通が便利になるといいなどは思った。
16-1	女性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	この地域は、多世代との交流を大切にするために、しらすまつりや梅まつりなどがあり地域一体が一つになっている感じがあるので、この理念と目標は適していると思った。
16-2				○集約連携型都市構造に ついて	自動車に過度に依存しない都市構造を実現するために、バスの路線を増やしたり、来ると時間を多くしたりする必要があると思う。
16-3				○区別構想について	駿河区は葵区に比べ活発的なふんいきはなく橋をわたらないといけないため、はなれている感じがある。だから、もっとバスの利用ができるようにすれば、交通に不便さを感じなくなり、人も増え、活気ができると思う。
16-4				○その他	カラーつきで見やすかった。
17-1	女性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	自転車や歩いて回れるコンパクトなまちづくりは良いと思った。自然環境を保全しつつ公共交通が充実すれば良いと思う。静岡のまちなかに自動車をとめるには有料が多いので自動車に過度に依存しない都市構造が実現すればよいと思う。
17-2				○集約連携型都市構造に ついて	まちなかへの公共交通も大切であるが、静岡の豊かな自然を守ることも大切であると思う。自動車に依存しないために、1時間に1本だったりする場所があるのでバスの本数を増やすようにしてほしいと思う。
17-3				○区別構想について	私は、清水区に住んでいますが、やはり葵区に比べると買い物をするような所など少ないためもっと若者が集まる様な活気のあるまちづくりをしてほしいと思う。また、せっかくある海や港、山などの自然の魅力も伝えるべきだと思う。
17-4				○その他	資料が色を使いすぎていて少し見にくかったです。
18-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	人口が減少していくことは確実であるから、新たな方法や町づくりを目指していくしかないと思う。市ばかりが積極的でも生活していくのは市民であるから市民の声を盛り込んだ目標をかかげてほしい。
18-2				○集約連携型都市構造に ついて	集約連携型都市について2つの着目点から構成され各地区をゾーンごとに分け、その地形に合ったライフスタイルを構成していくことは共感できた。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (6/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
18-3				○区別構想について	区別構想についてはそれぞれ区別に方針が異なっていくと区の人口差が広がるのではないかと疑問に思う。
18-4				○その他	まちづくりカフェについてですが、第4回目にして初めてこういった意見交換があることを知りました。もう少しこういった場を市が企画していることを市民へ発信して欲しいと思いました。
19-1	男性	富士見市猪之頭	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	「まち」をよりよくすると言った中で、現在の静岡市の現状を見た時、20年先を考えると、時代のニーズに合わせた政策をよりよく運営していく事は話だけを聞くと難しいのではないかと思います。
19-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型都市構造は、静岡市におけるよい所を前面に出していけると思うので、発展させてほしいと思いました。しかし行う上で、全てのライフスタイルに対しての環境整備を行うことが重要ではないかと思います。
19-3				○区別構想について	静岡市という大きな枠組みだけでなく区のような小さな地域がその中で、災害対策のための活動を行ったり、若い力をうまく利用していくことは、今後、まちづくりをしていくうえで、とても大切な事だと思いました。
19-4				○その他	今回の説明のみでは地図の内容をはっきり理解することができませんでした。もう少し時間をかけての説明が欲しかったです。
20-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	自分は近くで言うと名古屋や東京、横浜のように便利で栄えている人がたくさんいてせかせかしているところは好きではない。そういう意味でいえば、静岡は住みやすいところだから、後は便利性がさらに向上すればどの県よりも住みやすくなるのではないかな。
20-2				○集約連携型都市構造について	拠点は拠点、観光は観光としっかり分かれているのは地元に住んでいる人も静岡に来た人も良いと感じる。拠点の中に何か見たり体験したりして楽しむ娯楽的なものがあればさらに良いと思う。
20-3				○区別構想について	資料の地図のようなものがあれば特に子どもやお年寄りにとっては非常にわかりやすいと思う。また、様々な案も出てきやすくなる。
20-4				○その他	正直個人的には静岡市、特に自分の住んでいる地域にはあまり不満がない。東京や横浜も近いので困ることもない。しいて言うなら静岡は物価が高いと思う。
21-1	—	焼津市下小田	—	○まちづくりの理念と目標について	今の時代や人口に合わせた町作りはとても面白いと思いますし、ありがたいです。
21-2				○集約連携型都市構造について	「どこに行けばなにがある。」ということが感覚で分かりやすくなるので、お出かけしやすと感じました。
21-3				○区別構想について	区ごとに分けることで、それぞれに特徴ができ、それを求めて人も移動すれば良い感じになりそう。
21-4				○その他	完璧に計画通りに行くとは思えないので、時にはゾーンの中に、計画にない建築物をつくることも許容することも必要になるかもしれない。環境を「ゾーンごとに分ける」と聞くと、不安になるお年寄りなどもでると思うので、フォローもいれたいかな。
22-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	集約連携型都市構造にしても街をある程度活気づけるには歩行者天国のように交通弱者に優しい街づくりをするべき。
22-2				○集約連携型都市構造について	集約されるのはよいがそれに漏れた地域に住む人にも同等の生活を保障されるようにするべき。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (7/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
22-3				○区別構想について	新東名 IC 付近に産業拠点があるのは良いと思う。駅周辺の都市拠点の周りに緑の拠点があるのは景観的にはよいが、多くの人が通行利用する上での維持が心配。
22-4				○その他	個人的にサッカーをはじめスポーツを推進してほしい。
23-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	人口減少や少子高齢化、市街地の低密度化などが問題となっているため、高齢者のために公共交通を便利にしたりしようとしており、長期的視点で見るとは大事だと思った。
23-2				○集約連携型都市構造に ついて	私は集約連携型都市構造について賛成です。私は元々富士に住んでいたがバスなどの公共交通が全然なく車無では不便すぎて生きていけないくらいでした。ひとつの場所にまとまると一回で用事も住むので大変便利だと思う。
23-3				○区別構想について	区によって、自然の多さや人の集まる場所など様々であるため、それぞれの区で違った構想があって面白いと思った。静岡市は海も山も街もあるので活かして欲しい。
23-4				○その他	街に色々な物を集めるのは便利になるが元々山の方で住んでいた人や、街から離れた地元が好きで離れたくない人たちにとっては少し不便になるのではないかと不安になった。バスの本数や路線を増やせば移動は楽かもしれないが遠い所の人には長い間バスに乗っているのは嫌だと思う。
24-1	女性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	静岡市の現状を見るとやはり1番は人口減少が目につきます。公共機関の発展や住みやすい町作りをしたとしても人々がそれに注目しなくては他県住みたいと思われたいかもしれません。何か人々が驚くような注目するテーマを決定するのも良いと思います。
24-2				○集約連携型都市構造に ついて	静岡県特有の自然を生かす方法は大変良いと思います。素晴らしい環境を崩さず町作りをしてほしいです。都市部ですが、私はいまのままの静岡で良いと思ってしまいました。これ以上集約してしまうと安全の確保が困難な気がします。
24-3				○区別構想について	私は現在葵区に住んでいますが、記されている通り自転車や自動車の交通が大変多いです。自転車専用道をもっと多くあれば歩いている人も自転車も安全に通ることができるでしょう。
24-4				○その他	私自身静岡県民でないのに、あまり静岡のことを言えた訳ではありませんが、静岡は他県からすると「富士山」のイメージしかありません。静岡を活気の良い町にしていくには、他県に静岡の特有物をもっと主張すべきだと思います。しかし、無理に自己主張しない静岡のおだやかさも大変良いので、うまくそのギャップを行かせると良いのではないのでしょうか。
25-1	男性	島田市中河	10歳代	○まちづくりの理念と目標 について	各地区の目標や特色が実際に学校以外のものをほとんど利用していない僕にはわかりにくかったので、別紙で具体的にどこがどうなっているのかどう変わったかを文章化してほしい。やりたいことが多すぎて散らかっている印象を受けた。
25-2				○集約連携型都市構造に ついて	集約する場合に重要になるのは公共交通の値段が安いとことと量だが、数が増えると管理がうまくいか不安。近くに病院とあったが住宅街に近すぎると救急車の出動による騒音や子どもの事故などの心配も多いと思う。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (8/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
25-3				○区別構想について	地域ごとに違いがわかりにくく実現した際にこの通りに動けるのか不安に感じる。
25-4				○その他	一番の不安点は公共交通機関が増えることによる事故や大気汚染等できれいな町が失われることです。
26-1	男性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	20年先のことを想像し、考えていくことは難しいと思う。しかし、必ず必要で大切な事だと思う。少子高齢化社会が進む社会だから高齢者の住みやすい地域が求められるのかもしれないし、そう考える地方などが多いかもしれないけれど、だからこそ若者を呼び込むような活気のある地域を作りたい。
26-2				○集約連携型都市構造に ついて	集約連携型都市構造について成功です。何をするにも反対意見というのは出るものだと思うけど、利便性と将来性、未来性を考えると有益だと思います。しかし、低所得者などは家賃などを考え集約連携型都市に住みたくても、あえて離れたところに住むなどでその割合がどのくらいなのか。また本当に集約することができるのかが、気になります。
26-3				○区別構想について	住居が集約されるということで心配になるのが、特に火災についてです。密集していると次から次へと火が移ってしまいますので怖いと思います。江戸時代の江戸の町の火災は木造住宅であったこともあるが、過密都市であったことが1番の原因であったと思うので、やはり歴史を振り返ると心配である。
26-4				○その他	静岡県の車利用者の増加について 私は基本的にいつもクロスバイクを愛用しているが、クロスバイクやロードバイクなどの環境に対する、自分(人間)に対する健康的な良さをもっと多くの人に知ってもらいたいと思います。
27-1	男性	牧之原市須々木	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	駿河区の目標の1つである若い力を活用したまちづくりというのは、今の少子高齢化社会を支えるとても大切なことだと感じ若者の他県への転出も妨げると感じました。
27-2				○集約連携型都市構造に ついて	自分の家から最寄り駅まで車で20分くらいかかるので、自動車に依存しない都市構造はとても行ってほしいと強く思いました。
27-3				○区別構想について	葵区の暮らしの拠点から公共交通が近くにあるということは、とても便利なことであるし、田舎に住んでいてとてもうらやましく感じ明日。公共交通の1つであるバスが時間通りにあまりこないのを道を拡張するなどの道路整備が課題だと思います。
27-4				○その他	—
28-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標 について	葵区のまちづくり方針の歴史・文化を身近に感じるというところで静岡には歴史的なモノが数多くありますがそのほとんどが身近な人し かしらないので、それをアピールして、自転車などでまわりやすいように所々にレンタサイクルの設置などが良いのではないかと思います。
28-2				○集約連携型都市構造に ついて	ライフスタイルの選択肢が広がることは良いことですが、④、⑤の中心部や駅周辺部以外の場所に人が集まらなかった場合、人口が減っている今、過疎化が進行してしまうので、そちらの方を強くアピールや積極的に押していくべきだと思います。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (9/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
28-3				○区別構想について	公共交通が充実し、自転車やあるいて回れるコンパクトなまちづくりのためにまずは道路の整備し、自転車と歩行者が分かれて交通できる環境作り、レンタサイクルの設置による移動のしやすさ便利さの追及が必要だと思います。
28-4				○その他	現状静岡の交通はあまり良いものではありません。一部の道路では、自転車と歩行者を分けた道路へとできていますが、まだほんの一部なのでもっとそういった道路を増やしてもらいたいと思いました。
29-1	男性	島田市尾川	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市の将来が、人口減少・少子高齢化など多くの問題を抱えているので、このような理念や目標には賛成です。
29-2				○集約連携型都市構造について	都市機能をいくつかの拠点やゾーンに分けて集約されることは良いのですが、それを行うと山間部はますます廃れていってしまう可能性がある。山の手入れや里山の整備などの自然環境の維持も重要だと考えます。
29-3				○区別構想について	想定される東海地震に対する防災が重要であると思います。特に津波の被害が大きく予想される駿河区や清水区の海に近い地域は、住宅地にするのは適していないと思います。
29-4				○その他	静岡市に限らず地方都市は全国的に同様の課題を抱えています。ですから、他の地方自治体と連携していくことが大切だと思います。また、市民も行政に任せてばかりではなく、自分の問題として市民一人一人の問題意識を向上させなければならない。
30-1	女性	伊豆の国市南江間	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市の現状を少しでも良くするための基本指針には、環境や人口などの直面している問題を解決しようとあり、感銘を受けました。長期的に見て、その土地に合った方法で政策を行っていくことの重要さや、住民の意見を取り入れることが大切であると考えました。
30-2				○集約連携型都市構造について	人々のニーズに合った街なみにしていくために、都市部と観光部の連携はかせないものであると感じました。自動車の依存を減らしていくために、公共交通を充実させていくことや、今あるエリアを広げられないようにするための工夫をしていくことが重要であると考えます。
30-3				○区別構想について	区別ごとに詳しい地図を表示させることで、今後静岡市に住みたいと思っていच्छる方が分かりやすいと感じました。特にゾーンを分けてあることにより、安心して選べると感じます。さらに、既に住んでいる住民の方の意見を表示すると、分かりやすいのではないかと思います。
30-4				○その他	将来的に、静岡市から発展していき、他の市でもこのような活動を行えば、さらなる意見や連携が深められるのではないかと感じました。身近な部分から、どのように発展させられるかを考えていきたいと思っています。
31-1	女性	焼津市三右衛門新田	—	○まちづくりの理念と目標について	都市が広がっていくことは都市と郊外との差が生まれなくていいことだと思っていたけれど、道路の整備とかのお金がかかってしまうことを知りました。確かに静岡ではよく道路工事をしているイメージがあります。
31-2				○集約連携型都市構造について	家から徒歩や自転車で行けるようになるのは便利だと思いました。コンパクトシティの白黒の絵にあった高齢者は平地で若者は高層というように利便性の高い市街地を高齢者が住んでいる地域にすればいいと思いました。
31-3				○区別構想について	3つの区に分かれているのは知っていたけれど、地形や人口密度によって方針がかなり異なるんだなと思いました。どの区でも公共交通の充実が書かれていて、電車を走る範囲は増やせないのかなと思いました。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (10/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
31-4				○その他	静岡市だけでなく、静岡県は電車の種類が少ないため、車に頼ってしまうと思いました。市外の人とはともかく、市内の人は市内の中では公共交通を使ってもらえるように、静岡市民だけは市内の公共料金を減額すればいいと思いました。
32-1	男性	静岡市葵区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	そのまちにあった理念と目標が設定されていて好感がもてました。詳細に図が書きこまれていてどこがどんな所なのかわかりやすく確認することができました。
32-2				○集約連携型都市構造について	色々な施設を都市に集約してしまうと、例えば、都市から離れた所に住むお年寄りで体が不自由な方で公共交通機関を使用できない人はどうするのか疑問をもちました。
32-3				○区別構想について	静岡県は、東海地震がくるおそれがあり防災課題エリアを記載しているのはそこに住んでいる市民にとって防災への意識を強くさせる効果が期待できると思うのでいいアイデアだと思いました。
32-4				○その他	今回の静岡市都市計画マスタープランのパブリックコメントの説明を聞いて都市計画に少し興味を持ちました。都市計画について自分なりに調べてみようと思います。今回は、このような貴重な機会を作っていただきありがとうございました。
33-1	女性	富士市	20 歳代	○まちづくりの理念と目標について	10年後には、静岡の人口が10万人近く減ってしまっていることになるというのを聞いて、このままではまずいと思うので、まずは、少子高齢な市になることを少しでも良くするように、若い人の集まりやすい環境を作るべきなのではないかと思います。気軽に市外の人たちが来れる環境は重要であり、そこから始まると思います。
33-2				○集約連携型都市構造について	たしかに、バスなどを利用することで住みやすい環境にあることは間違いありません。ですが、頻繁に利用するにあたりお金の負担は大きくなると思うので、運賃を下げることも視野に入れた方がいいと思いました。利便性の高い市街地ゾーンから自然調和ゾーンまで過ごしやすくすることが大事だと思います。
33-3				○区別構想について	昔から歴史あるものをちゃんとその市ならではのものを残し、市街から来た人に知ってもらおうようにし、また、交通面でも様々な人が少しでも来やすくなるようにすべきだと思います。ですが、道路などを建設するにあたり、森林をなるべく減らさないようにもするべきです。
33-4				○その他	若い人は東京などの大都市に移住してしまうことが多いので、少しでも地元に残り、少子高齢の状態を改善するために方法を見つけなければいけないと思います。市内に来てくれた人も満足してくれるよう、静岡の誇るべきものをピックアップして、思い出をつくれるようなものを設けることも大事ですし、私も毎日バスを利用しているのですが、毎日利用するからこそ料金の負担が大きいので少しでも安くして頂けると嬉しいです。
34-1	男性	焼津市保福島	20 歳代	○まちづくりの理念と目標について	人口の減少というのは、とても大きな問題だと思います。人口が減少しているのに市街地が広がると、公共の整備や道路の管理が大変という話でしたが、そうなる、そこに住んでいる人も住みにくくなってしまふので、いろいろな問題につながると思います。
34-2				○集約連携型都市構造について	私は通学のために電車を利用しているため、自動車に依存しない都市構造というものをとても身近に感じたし、歩いていける場所に病院などがあればいざというとき安心だな、と思います。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (11/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
34-3				○区別構想について	私は静岡市外に住んでいるので自分の市を区別に考えるということがありませんでした。ですが区ごとの特色を生かした構想は、そこに住んでいる人たちにも、より身近に感じることができると思うし、自分の住む市を身近なところから把握できるのでとても分かりやすいなと感じました。
34-4				○その他	私は焼津に住んでいて、焼津とくらべると静岡はとても都会的だし、暮らしやすいと思います。その静岡ですら、人口の減少などで苦しいのに、焼津はこれからどうになってしまうのかとても不安です。なので今日きいたお話を自分の市におきかえ、これから自分なりに考えていこうと思います。
35-1	女性	—	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	より住みやすい町をつくるには、私たちの意見も必要となることが分かりました。実際に住む人たちの意見も反映させてのまちづくりが重要になると思いました。
35-2				○集約連携型都市構造について	若い世代は、様々な手段で移動できるため、今のままで不便に感じることは少ないですが、高齢化が進んでも住みやすい町をつくるには、よく利用する施設を集め、そこへのアクセスを整える集約型の構造がとても良いと思いました。
35-3				○区別構想について	それぞれの区にある文化的なものや観光施設を活かしたり、反対に足りない部分を補ったりと、その区独自の町づくりが大切だと思いました。利便性の追求だけでなく、今ある自然の保護や、安心して暮らすための防災も充実した町になってほしいです。
35-4				○その他	静岡市内では、より住みやすい町にするために様々な構想があり、それに向かって準備を進めていることが分かりました。自分が住む市でもそのようなまちづくりが進められているのか詳しく知りませんが、人口構造が変わると共に町も変える必要があるのだと思いました。
36-1	女性	—	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	私たち市民が声を出せば出すほど、よりよいまちになると思うので、アンケートなどで積極的に声を出そうと思います。意見がぶつかり合って出た結果は最善のものになると思うので、時にはぶつかり合うことも必要だと感じました。
36-2				○集約連携型都市構造について	私の住むところは、駅も近くバスがあるのでとても便利です。一つの場所に病院や商業施設がまとまっていると、どんなところに住んでも、交通手段が一つで住むので利便性が高まると思いました。
36-3				○区別構想について	区別で防災対策があると、区ごとの土地的特徴に対応したものになると思うので、いいと思った。区を分けるとこによって区役所といった行政サービスを受けられる場が地元に着するので、利便性が高まると思いました。
36-4				○その他	まちづくりカフェというイベントが開催されることをはじめて知ったので、街中にもっとポスターなどを貼って宣伝したらまちについてあまり考えたことがなかった人にも広く伝わるのかなと思いました。
37-1	—	静岡市葵区	—	○まちづくりの理念と目標について	今後、高齢者が増えると予想されているので、医療などの発展は重要だと思いました。
37-2				○集約連携型都市構造について	交通利便性が高い地区に集約させるには、バスの本数を増やしたり、電車の新たな路線を作らなければ実現はできないと思いました。

■静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (12/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
37-3				○区別構想について	公共交通が充実し、自転車や歩いて回れるコンパクトなまちづくりと書かれていますが、今の時点で自転車を利用している人が多くいるので、自転車も必要なくなるようなまちにするべきだと思いました。
37-4				○その他	マークイズのような中途半端なショッピングモールを作るのではなく、浜松にあるような大型ショッピングモールを作った方が利用者が増えると思います。
38-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市はあと20年もすれば10万人も人口が減少し、その中で高齢者が17%、少子が33%と圧倒的に子供の方が減少してしまうので、そのために静岡に若者が残って逆に人口が増加するようなアイデアを出してがらっとこの悪い流れを変えてほしい。
38-2				○集約連携型都市構造について	静岡市は静鉄バスや電車、JRなど様々な公共交通機関があり、交通の便もそこそこ充実しているし、日本平や三保半島、井川や梅ヶ島などの自然資源も市街地の外側には沢山あるし、静岡のコンパクトシティに住んでみたいので、この目標を実現させてほしい。
38-3				○区別構想について	葵区は街から山まで揃っており、街中は自転車や徒歩で回れるし、山の方へ行く際もバスなどがある。駿河区はお洒落なまちがたくさんあるのでそれを売りに発展させていけばよいと思う。また、清水区は海や港が多く盛んなので、このような自然資源を活用していくべきだと思う。
38-4				○その他	私は中学生の頃からこの静岡市に住んでいますが、このような計画を考えて過ごしていたことは一切なかったので、もっと静岡のことを色々知らないといけないなと思いました。
39-1	女性	静岡市葵区	—	○まちづくりの理念と目標について	私たちのような、一般に暮らす人が一番に求めているものは、きっと安心、安全や快適さです。この骨子案には、それが目標として挙げられていましたので、一般の声を取り入れている、と感じました。
39-2				○集約連携型都市構造について	都市と地域をつなぐ公共交通にポイントがあると考えました。私自身の場合では街中に行くことは問題ありませんが、周りの人の意見だと、バスの料金、本数、稼働時間等、少し意見が出てくることがあります。
39-3				○区別構想について	葵区についてしか、知っていることはありませんが、先程の、集約連携型都市構造には、とても近いのではと感じました。子どもからお年寄りまで安全、安心して暮らせる、というのはとても好印象でした。
39-4				○その他	私は静岡が大好きです。人が離れていっているこの状況は、私から見てもとても寂しく感じます。この大好きな街がもっと良い街になるよう、願っています。どんどん変わっていく静岡がこれから楽しみです。
40-1	女性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市は人口の減少に加え、高齢化という問題を抱えている上で、その時代にあった都市づくりをしていく必要があると感じました。
40-2				○集約連携型都市構造について	清水、三保地域を観光・レクリエーションの拠点としていましたが、実際に自分が住んでいて、本当に三保、日本平が観光資源になるのかと疑問に思いました。一度はおとずれたとしても2回目、3回目につながるようにしていかななくては観光の拠点にならないと思いました。
40-3				○区別構想について	人が集まりやすいところに、普段の生活に必要なスーパー、学校、病院、役所があると、そこに住んでいる人は利便性を感じ、少し車で走ったきよりに大型ショッピングセンターがあれば住みたいと思えるような地域になると感じました。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (13/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
40-4				○その他	マスタープランの話を聞いて、本当にこれが実現できればより住みやすい環境になるかもしれませんが、今まであまり実現されてきていないので、これからの静岡のためにも、よりよい町づくりがなされていけば良いと思いました。
41-1	女性	牧之原市静波	20 歳代	○まちづくりの理念と目標について	地域、特色を生かすことで、住民が住んでいて居心地の良いまちを目指し、安全、安心して生活していけるまちを目指すことは、静岡に住んでいる市民たちにとってすごくいいことだと思った。
41-2				○集約連携型都市構造について	人口減少、少子高齢化、地球環境問題など様々な問題をかかえる中で、「集約連携型都市構造」を武器にすることで、幅広い年齢層の人のライフスタイルの選択肢が広がるので強みになると思った。
41-3				○区別構想について	まちごとに特性を生かしてその地区ごとの魅力を出すことで、住んでいる人たちにとっては住み心地の良いまちになり、その地区の特性も引き出されいいことだと思った。
41-4				○その他	—
42-1	女性	富士宮市宝町	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	まちづくりとひとくりにしても新しいことを実行することで犠牲になることもあると思うが、人と人のつながりや自然調和などプラスになることばかりでいいことだと感じました。
42-2				○集約連携型都市構造について	様々な問題を抱える中で、集約連携型都市構造をとることにより強みになると思いました。年齢層によって住みたいところが変わるので、自分のライフスタイルが広がると思います。
42-3				○区別構想について	まちごとにその特性を生かして新しく変えることでその地区ごとの魅力がでて、そこに住む人たちは居心地よく住むことができ良いと思いました。
42-4				○その他	—
43-1	女性	藤枝市東町	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	市街地から自然調和まで幅広い環境があるからそのどこにいても住みやすく、幅広いからこそ海も山もあり災害も多いので、災害にも強く、人々が深い関係を築ける町づくりがいいと思いました。
43-2				○集約連携型都市構造について	年齢層によって自分が住みたいゾーンが変わってくるので、それにとまって様々な機能や役割を形成することにより、ライフスタイルの選択肢が広がると思います。
43-3				○区別構想について	それぞれに目標と方針があって、どの内容も納得することができ、地域の特色が生かされていていいと思いました。
43-4				○その他	—
44-1	男性	焼津市小川新町	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	公共交通を軸にする高密度化は納得できた。しかし、メインの公共交通までの移動手段を確立(自転車なら駐輪場)しなければ使いづらいままではないだろうか。
44-2				○集約連携型都市構造について	外側から主に若者を呼び込むと思うが、雇用はどう増やして行くのだろうか。人がいなければ第3次産業も入ってこないのではないだろうか。まず、大学生等、未来ある若者を誘致すべきでは？
44-3				○区別構想について	暮らしの拠点とは、例えば小中学生だったり、高齢者だったり、当面住み続ける人達が住む場所である。その拠点と拠点の間に大学生や専門学生が1人暮らしのできる環境や駐車場や駐輪場などのアクセスをよりしやすくする環境整備に使うのはどうだろうか。
44-4				○その他	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (14/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
45-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	住民が住みやすい環境を作ることが一番のことだと思います。今後静岡市はこのすばらしさをもっと住宅地にも応用してまちづくりを進めていければいいと思う。
45-2				○集約連携型都市構造について	交通のシステムが整っている場所に住宅や商業施設を集めていくことによって住民が暮らしやすくなるとともに自然の保護にも繋がっていくのもっと進んで取り入れていってほしい。
45-3				○区別構想について	住民が主体となって住みやすい暮らしやすい町作りを進めていくことによって自然と共存できたりどの年代のひとにとっても暮らしやすい町作りになる。人と人のつながりが強くなっていくのだと思う。
45-4				○その他	自分の感じたことは静岡市には車や原チャリを置けるスペースが少ないなと思いました。もっと公共交通手段を多くしてほしい。
46-1	男性	富士市富士見台	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡県は森や川、海といった自然に恵まれています。そのような昔からある自然の風景を維持しながら町を発展させるのであれば、静岡の良さを保ちつつ利便性も向上するので良いと思います。
46-2				○集約連携型都市構造について	私はこれからも郊外でゆとりのあるのんびりとした生活をしていきたいと思っていますが、構造の実現によってさまざまな人達のニーズに応えられるようになって静岡周辺に寄ってくるようになると思うので、私は賛成です。
46-3				○区別構想について	それぞれの市の特徴を活かす町づくりは面白そうだなと思いました。私個人としては、自然と共存をする町づくりの方針は積極的に推進すべきだと思います。
46-4				○その他	—
47-1	男性	静岡市清水区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	同じ静岡県内に住んでいても、中山間地域に住んでいる人や街中に住んでいる人など様々いると思うので、まずはそれぞれの地域に住んでいる人々に合わせたまちづくり、それを踏まえた上で、拠点づくりやゾーンの区別をしていければ良いと思う。
47-2				○集約連携型都市構造について	都市拠点や地域拠点にするところをあらかじめ決め、どこからでもそれらの拠点へ行けるようにするという考えは良いと思います。あとは、それらの拠点を繋ぐ交通機関の利便性を上げたり、駐車場や駐輪場を増やしたりして、静岡県外から来た人でも簡単に目的地まで行けて便利な拠点にしていくべきだと思う。
47-3				○区別構想について	やはり、それぞれの区の魅力をもっと多くの人に知ってもらうことに尽きると思う。実際、自分の住んでいる区以外の区の良さや魅力について知っている人はなかなかいないと思うので、まずはそれぞれの区の良さや目標について多くの人に知ってもらうことがまちづくりの第一歩だと思う。
47-4				○その他	—
48-1	男性	焼津市上新田	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	「人と自然」「都会と自然」が共生したまちはとても魅力的だと思った。公共交通機関をすすめるのなら、料金を下げてほしい。
48-2				○集約連携型都市構造について	より発展した都市と、都市化を制限された地域で、さらに人口に差が広がるといった。でも自然を守ることとても大切だと思うので、地域の人には援助するなどしてほしい。
48-3				○区別構想について	市町村単位では、手のとどきにくい所もあると思うので、範囲を狭めることは有効だと思う。区ごと差が出て、成果の悪い区の人が良い区にいつてしまうような結果が少し心配。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (15/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
48-4				○その他	案はとて素晴らしいと思ったので、後は実現してほしい。
49-1	男性	富士宮市富士見ヶ丘	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	多くの若者が市外、県外へと流れていってしまい、このままでは静岡で仕事をすることで、観光地の維持にも影響が出てしまうと思われる。住みやすく、気軽に来られるまちづくりは静岡だけでなく多くの地域で言える大切なことだと思うので、時間をかけてでも考えていくべき。
49-2				○集約連携型都市構造について	静岡には多くの観光地がある。都市機能を充実させることも大切だが、それよりも周りの観光地への活性化に力を入れ、観光客やその近くに住みたいと思う人などに注目した方がいいのかもしれない。
49-3				○区別構想について	その地区にはその地区の特色があるため、それぞれ異なった構想を立てることは良いことだと思う。暮らしの拠点や交流が活発なまちづくり、特に東海地震に備えた防災については住民にも分かりやすく、利用しやすくする必要がある。
49-4				○その他	友人や親もよく言っていたのだが、静岡には働く所が少ないと言う。住みやすい、アクセスの向上というのも大切だが、若者を引き止めるためには働き口というのは不可欠、今まで静岡にはなかった分野の仕事も取り入れてほしいと思う。
50-1	男性	富士市神戸	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	最近、少子高齢化が進んだことで私の住んでいる町にも多くの介護施設ができてきた。多くの高齢者がいることでその人達が日常生活をより住みやすくできれば活気も出てにぎわいが出ると思う。
50-2				○集約連携型都市構造について	発展した都市とゆとりある市街地をわけることで日々はゆとりある市街地で住んでいるが利便性を高くすることで都市のアクセスをしやすく、役割がちゃんとできていてとてもいい。
50-3				○区別構想について	都市も発展しているが、歴史・文化を守り、自然と共存したまちづくりや、子どもでお年寄りでも住みやすい、誰でも住みやすく安心なまちをつくることできれば静岡にもっと人が集まると思う。
50-4				○その他	—
51-1	男性	菊川市西方	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	生活の質を高めるためには、やはり、公共交通機関をもっと増やすことだと思う。バスや駐車場をより多く増やすことができれば、移動が楽になり、行動の幅も広がる。様々な場所に新しい店が建てられ、町が活性化すると思う。
51-2				○集約連携型都市構造について	様々な機能、役割をもった施設などがあれば、静岡市で住む選択肢が広がり、人も集まり、良いと思う。
51-3				○区別構想について	区別構想をすることで、子供やお年寄りが安心して暮らせるようになる。そして、交通機関も多いので、車を使わなくても、いろいろな所に気軽にいけるようになる。
51-4				○その他	—
52-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	交通アクセスをスムーズにする点は、人が住みやすくなること、外からの観光客を呼ぶ際にも便利になり、良いと思いました。子どもからお年寄りのことを考えたまちづくりは、住みやすさにもつながると思うので、重視する点だと思います。
52-2				○集約連携型都市構造について	コンパクトシティのような考えは、交通にも便利だし、自然を守ることもつながると思うので、良いと思いました。市街地の外側は、その地域の良さを活かした活用を考えられるので、活性化も期待できると思います。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (16/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
52-3				○区別構想について	それぞれの土地にある歴史、文化、自然の魅力を大事にできるものだと思います。区別ごとの良さがあるので、自分にあつたまちを見つけるにも参考になると思いました。
52-4				○その他	安心、安全の面で、自転車と歩行者の道路を分けてもらおうと、事故を防げると思っています。交通機関の料金を下げること、人が住みやすくなると思います。
53-1	男性	掛川市下垂木	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	少子高齢化や建築物の建替えにより、何かと金がかかってきて、20年後には市民の生活が税金で圧迫されることがあるかもしれないので、都市計画で一気に厳しい流れを変えて欲しい。
53-2				○集約連携型都市構造について	個人的には、「利便性の高い市街地ゾーン」に憧れていて、もし今以上に公共交通機関が使いやすくなれば、もっと来る人は増えると思う。特に料金が安くなってほしい。
53-3				○区別構想について	区別構想で駿河や清水が魅力のある町になれば、人口流出も防げると思うので、期待している。特に、観光地としての魅力が高まってほしいと考えている。
53-4				○その他	ゆくゆくは、静岡が名古屋のような都市になればと思う。
54-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市民の事を重点に置いた都市計画がたてられて嬉しく思った。しかし意見を求める多くが学生なので、もっと別の高齢者にも意見を聞いて欲しい。きっと自分達からは見えない答えが聞けると思う。
54-2				○集約連携型都市構造について	自分では、こういった試みの結果が、具体的にどうなるのかは分かりません。ただ、田園環境の中で居住する場合のライフスタイルの構想。これは過疎化に伴う子供を含めた人口の減少や、農林業従事者の大半である高齢者達だけの暮らしが増えて危険であったりするのではないかと思います。
54-3				○区別構想について	自然との共生は良い事だと思う。しかし、中山間部に住む自分としては、都市部に少しだけある植物が、防災のためとはいえ、コンクリートでガッチリと舗装された川を見ると違和感を覚える。また、安全で安心な街を作る上での第一歩は交通安全だと思う。静岡市民の車の運転マナーはひどい。
54-4				○その他	市街地をそれぞれ役割の違うゾーンに分けて、公共交通軸で結ぶ。しかし現在、市内を移動するのに公共交通を利用するのは若者や高齢者など、移動手段を持たない人がほとんどです。利便性の高い市街地ゾーンへの交通が密集して交通での問題が多く発生する気がします。
55-1	男性	島田市高砂町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	公共交通機関を勧めるなら、歩行者優先の街にするべき。歩行者をもっと動きやすくするべき。
55-2				○集約連携型都市構造について	駅から高速道路までアクセスしやすい広い道路を作る。その道路に大型ショッピングモールなどを作る。駅の周りに歩行者優先の市街地を作る。
55-3				○区別構想について	駅とICを結ぶ広い道路が欲しい。その道路に大型ショッピングモールを作る。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (17/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
55-4				○その他	多目的に使えるドーム型の競技場が欲しい。
56-1	女性	富士市松岡	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	住んでいる人々が住みやすく、環境を整え、人との交流が深まるようなことをまちづくりというと思う。安全に暮らせ、人が集まる、そんな環境にしていくことが大切だと思います。
56-2				○集約連携型都市構造について	中心部で街なか居住。駅周辺やバス利用権において、私が思うのに街なかで自転車に乗る人が増えてきているが、歩道で自転車にのっている人が多く、歩行者が危ないので、自転車専用道路が必要だと思う。
56-3				○区別構想について	静岡の中心部ばかりにバスが偏っている気がするため、もう少し中心部から離れたところも便をふやし、中心部に人が流れるようにして欲しい。
56-4				○その他	商店街がもっと活性化するような催しを開いたり、空き場所を借りて学生が交流できるような場所をもうけたり、もっと多くの人に中心部に来ってもらうために、静岡市の限定ものをつくってアピールしたりすることも必要だと思う。
57-1	女性	藤枝市清里	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	人口減少や少子高齢化など、自分達が住む市の問題は深刻だと思う。中でも最近では、自然災害が多く、対策が求められているけれど、極度に集中した居住が元となったコンパクトシティは、地震や火事などに本当に対応できるのかと疑問を持った。
57-2				○集約連携型都市構造について	交通機関に優れ、周囲にショッピングセンターや病院などが集まっていれば便利だし、将来住めたら良いなと思うが、自然環境をもっと身近に感じられる空間があれば望ましいと思う。川が都市の中を通っていたり、緑が多く空気が良ければ、子供から大人、高齢者まで住みやすいのではと感じた。
57-3				○区別構想について	葵区の区別構想では、静岡駅の近くに暮らしの拠点が多く設定されており、電車やバスを利用して買い物をしたり、通勤・通学にとっても便利だと思う。しかし、その暮らしの拠点の近くには、あまり自然を感じられる施設が少ないように感じる。
57-4				○その他	安心、安全で、子供から大人まで住みやすく、歴史的景観や文化、自然と共存した魅力あるまちができれば素敵だけれど、実際にどのように計画するかと考えると難しいことがわかった。すべての要点が共存することは大変だけれど、こんな暮らしができれば良いなと想像するだけでなく、もっと静岡市のことを知りたいと興味を持つことができた。
58-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	交通の便が悪いところは、バスの本数を増やすなど、生活しやすい環境をつくるのが大事だと思います。危ない道路などがたくさんあるので、しっかり改善して、安全にしていくことが大事だと思います。
58-2				○集約連携型都市構造について	都市機能や交通機能など、便利なものを集約することで、近場の人や遠くから来た人でも便利になって、いつでもいけるので、良い考え方だと思います。
58-3				○区別構想について	都会と自然が共生したまちづくりは大事だと思います。都会ばかりに力を入れていると、自然の方がおろそかになってしまうので、どちらも共生したまちづくりをすることで、平等に力を入れることができるので、良いと思いました。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (18/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
58-4				○その他	安全で安心して暮らせるような街づくりは、とても大切だなと感じました。より良い街づくりにしていく方法はたくさんあると思うので、地域で話し合っていくことが大切だと感じました。
59-1	男性	静岡市駿河区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市の街中で人通りが多いにもかかわらず、交通量が多い箇所があり、道路を広げるのは厳しいと思うから、時間を指定して、車の進入を禁止にするなどをしたほうが良い。
59-2				○集約連携型都市構造について	バス停が少ないと思う。例えば東新田では、徳洲会行きが静岡駅などから走っているが、安倍川駅付近にはバス停が無いので、少し不便だと思う。
59-3				○区別構想について	東静岡駅周辺の近くに、観光・レクリエーション拠点があるから、駅周辺と共に、いかしていくべきだと思う。
59-4				○その他	静岡県には、草薙球場があったり、サッカーのプロチームがあるから、プロ野球チームを呼んで試合をしてもらうなど、スポーツのイベントを多くすれば、もう少し活性化すると思う。
60-1	男性	静岡市清水区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	まちづくりは難しいと思いました。人を減らさないために、交通網やサービスをよくするが、その分、人への危険が増えるし、安全・安心をテーマにしたまちづくりには反比例になってしまうからです。
60-2				○集約連携型都市構造について	その市の強みを活かすというところに興味を持ちました。静岡には、一つ一つのインパクトはそう大きくないけれど、たくさんの強みがあると思います。それを集約連携型都市構造で武器にできたらとても良いと思います。
60-3				○区別構想について	自分の住んでいるところが清水区だったので見てみたら、納得できる方針ばかりでした。スポーツでのまちづくりには、毎年小学生が全国から集まって、夏にやる草サッカーや日本平でやる清水エスパルスなど、これからもスポーツで活性化してほしいものです。
60-4				○その他	他の市と比べれば、静岡市は大きいし、名所もたくさんあるので、工夫しだいで、人口は減少することはないのではないかと思います。逆に、静岡市が静岡県を代表しなければ、他の市も自信がなくなると思います。
61-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	多世代の交流を楽しむことのできるまちづくりというのは、非常に良い目標だと思う。特に若い世代と高齢者の交流する機会は少ない。改善できれば、賑わいあるまちづくりにもなるはずだ。
61-2				○集約連携型都市構造について	拠点を作って地域ごとに役割のようなものができる。効率がいいが、できることなら、万遍なく利便性を良くしたい。
61-3				○区別構想について	葵区には、自然の感じられる場所が多いと思うので、自然と共存したまちづくりというのは良いと思う。
61-4				○その他	この計画は、地区ごとの特色なども踏まえてとても良く作られている。多種多様な意見が飛び交うと思うが、広い視点で対応して欲しい。
62-1	女性	富士市中央町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	集約連携型都市構造は、実現すれば、暮らしやすさ、利便性、自然自然の保全が可能となるので、計画はよいものだと感じた。
62-2				○集約連携型都市構造について	市街地ゾーンと自然資源が共存しているのは、過度な市街地の拡大や自然保全の面でよいと思った。市街地以外に住む人々が、市街地に行きやすいように、公共機関をもっと活用できるよう整備できたらより良いと思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (19/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
62-3				○区別構想について	市街地外では、自然が豊かな反面、不便な所もあると思うので、病院や商業施設が利用しやすいよう、コミュニティバスなどがあるとよい。
62-4				○その他	—
63-1	女性	—	20 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	第3次静岡市総合計画を達成するために、都市としての方針を示していくことも大切であると思うが、街だけでなく商店街についても少し考える必要があると思う。
63-2				○集約連携型都市構造に ついて	集約連携型都市構造については、電車を利用しやすい位置に街を作ることは良いことであり、今よりもっと買い物がしやすくなり人も集まりやすくなると思う。
63-3				○区別構想について	市よりもっと小さな区ごとで目標をかかげ、目指すことは、やりやすくなっていくと思うが、住民の意識の差によって進み具合が大きく変化していくと思う。
63-4				○その他	アンケート調査の参加率が悪いと話していただいたが、この計画を進めていくうえで大きなダメージとなると思うので、興味をもち、自分から参加してもらえるように説明会などを開いていくことも大切だと思う。
64-1	女性	静岡市葵区	20 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	静岡の人口減少、又、若者が就職の際、都市にながれてしまうのは、最近よく耳にする話である。この状況が続けば、未来を担う世代の人口はどんどん減り続け、活気が失われていく。就職口の増加により、安心できる地にしてほしい。
64-2				○集約連携型都市構造に ついて	公共交通機関により、生活に必要な施設がつながっていることは、利用者の増加と利便性に特化していると考えられる。しかし、そこに属していない郊外に住む人々には、あまり反映されない気がするので、賛否両論あると思う。
64-3				○区別構想について	自分は葵区に住んでおり、ちょっとした買い物や、学校、公共交通機関、全てにおいてアクセスしやすく、利便性に優れている場所だと認識している。しかし、無法地帯の山や川があるのが少し気になるので、そこへの防災管理を願う。
64-4				○その他	この「まちづくりカフェ」のようなイベントは、この辺の地元に住んでいる自分も、本日この広義にて聞くまで知らなかった。より多くの人の参加を促すためにも、もっと付近の学生に呼びかけられるように、多くの学校と連携をとるべきだと思う。
65-1	男性	浜松市中区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	人口の流出を防ぎ、静岡市の魅力を県外、県内に伝わる街造りをしてほしいと思います。
65-2				○集約連携型都市構造に ついて	都市機能を集約するゾーンと自然を残していき、公共交通機関で結ぶ構造は大変良いと思います。しかし、学生のような自転車を主に移動手段としている人もいますので、管理のゆきとどいた自転車置場の設置を進めてほしいと思います。
65-3				○区別構想について	3つの区の特長、特徴により拠点が分けられていて大変良いと思います。しかし、暮らしの拠点と都市拠点を結ぶ公共交通軸が2本は確保してほしいと思います。
65-4				○その他	毎日北街道を通学しています。その際に、自転車のベルを鳴らしながら横を通り危ないので、自転車専用道路を整備してほしいです。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (20/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
66-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	街の活気を取り戻し、静岡からの人口流出を食い止める事が大きな目的。静岡は決して利便性の悪い地ではないのだが、東京に近い事も災いして都市流出も多い。静岡の魅力や土地の良さをアピールすることが、完成の後の大きな課題となるのだと思う。
66-2				○集約連携型都市構造について	緑を多く残しつつ、都市と上手く共存する考え。集約地には、アクセスし易い交通機関や店を置き、緑地は観光地と組み合わせる事で、一方の人口密度が高くなりすぎる事を抑制する。自動車に頼りきらない移動によって、CO2の削減につながるので、理想的だと考える。(前者は、遊び場が少ないのが欠点かもしれない……)
66-3				○区別構想について	それぞれ区のよさを最大限に生かしたコンセプト(案)。どれにも利便性の良さが挙げられるので、特定の地域に人口が集中しすぎる、という事は防げそうである。また、特色も異なるので、車に「静岡の良さ」をアピールするよりは、それぞれの区ごとに分けてPRをしていけば、見た人も、住むプランを立て易いと思います。
66-4				○その他	静岡の名産品を集めた「静岡名産市場」みたいなイベントを中心部でやる。区ごとの観光客を競争させて、より多く人を呼び寄せた区に賞金を授与したりすれば、本気で地域のことを考えてくれそうです。私も活性化イベントにはよく参加しているので、益々の発展を願いたいと思います。
67-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡県には富士山があつたりと、風景がとてもきれいな県だと思うので、その良さを活かしつつ、他県の人々が観光に来る時も、多面で利便性を発揮できるまちづくりを目指したいと思う。
67-2				○集約連携型都市構造について	駅周辺に行けば買い物をしていても何でもそろうので、とても便利だと思う。街から少し離れた人でも気軽に足を運べるように、道路の設備を見直した方がよいと思う。
67-3				○区別構想について	葵区は人口が集中していて、交通の便がよく、人の出入りが多いのに対し、清水区は港町という印象があり、自然がきれいというイメージがあります。区一つ一つが違う特色を持っているので、その良さを伸ばしていけばよいと思います。
67-4				○その他	—
68-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市は、自然もたくさんあり、駅前にはいろいろな店があるので、それらの強みを生かしていく考えはよいです。自動車産業が盛んな静岡県で車に依存しない都市作りは矛盾している気がします。
68-2				○集約連携型都市構造について	集約することで町中はかなり便利になることはわかります。しかし、それ以外の場所で人口が減っていくのは目に見えていると思います。そこをもっと明確にして、観光や産業や、そこに住む人々とのかね合いなどを考えるべきです。
68-3				○区別構想について	集約するところとゆとりを持つ住居を分けることはよいと思います。人口が減っているということは一人当たりが使える面積は増えているので、そこはうまく使っていくことが大切です。
68-4				○その他	自然を生かすことは難しく、環境破壊につながってしまうかもしれないので、うまくやるのが大切です。
69-1	男性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	葵区のまちづくりの目標の「人と自然」、「都市と自然」が共生したまちづくりを実現させるためには、市民に自然について興味や関心を引き出すような活動をまずすべきだと思います。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (21/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
69-2				○集約連携型都市構造について	都市や地域の中心とした拠点を形成し、公共交通でつなぐということは、公共交通の利用が増えて、自動車を利用しない人にとっては移動のしやすい環境になると思います。また、拠点と拠点を直接つないだ道路を作り、車を利用する人も移動しやすい環境を作ってほしい。
69-3				○区別構想について	区別ごとの構想に特色や特徴がある作りしてほしいと思います。その特色や特徴をより高めることで、魅力のあるまちづくりになると思います。
69-4				○その他	静岡県の人口減少を止めるためには、静岡県に一生住みたいと思えるような街づくりをするべきだと思います。市民が一生住みたい街というのは、自分の生活が保障されているものだと思います。そういった安心、安全の街づくりをしてほしいです。
70-1	男性	静岡市葵区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	今日、静岡でも少子化が問題になっている。なので子供をメインにした街作りが必要である。これは子供がすくすく育てられるように保育園や幼稚園に力を入れ、共働きの親もサポートができるということが見込める。
70-2				○集約連携型都市構造について	静岡市は全国的に見て自転車を所持している人が多く、バスも多いのでうまく対応できると思う。強いて言えばバス停をもう少し増やすか、駐輪場の増設によりさらなる活性化が見込める。
70-3				○区別構想について	我が葵区は自然が豊富であるため自然と共存した街づくりというのは理にかなっているし、住民のモチベーションも悪くないと思う。
70-4				○その他	歩きタバコが目立つため規制すべきである。
71-1	男性	静岡市駿河区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市(県)の盛り上げには、このような革新が生まれたい限り何も起こらないと思う。人が外へ出ていってしまわないか心配である。
71-2				○集約連携型都市構造について	駅周辺を都市ゾーンとするなら、駅の拡大化。最寄り駅までのバスの運行が必要だと考える。(低価格)
71-3				○区別構想について	暮らしの拠点は、駅へスムーズに行ける場所が良いと考える。
71-4				○その他	駐車場、駐輪場が街に欲しい。
72-1	男性	—	20 歳代	○まちづくりの理念と目標について	少子化が進んでいるのでもっと子どもが、また、親も共働きが多いので預けやすく育ちやすいような、子どもに特化した街作り。
72-2				○集約連携型都市構造について	高速道路と市街地をできるだけ離し、市街地の途中にゆとりある市街地を設けて利用することによって街が活性化していくと思う。
72-3				○区別構想について	暮らしの拠点は、私は、ゆとりある市街地を望みます。あまり周りが利便性が高いと、一日 24 時間周りが静かになることがなさそうだと思います。
72-4				○その他	—
73-1	女性	静岡市清水区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標について	時代の流れとともに薄れていく地域の交流(人と人とのつながり)を大切にす理念に関心を持った。静岡は深刻な人口減少に悩まされている為、生活の質の向上を目指し、県外への進出の防止、且つ子育てのしやすい子どもの多いまちづくりが必要になっていくと思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (22/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
73-2				○集約連携型都市構造について	環境への負荷を考え、集約連携型都市構造にするのは良いと思うが、市民は交通利便の良い地域ばかり選び、人口が集中し、山間部の過疎化が進行すると思う。実際、自分の住む地域は、夏に観光等でにぎわうが、定住者はかなり減少している。環境を守りながらも、交通利便は良くしてほしい。
73-3				○区別構想について	自分の住む清水区は、電車やバスなど利便性も良く、市街地へのアクセスもしやすい為かなり住みやすいのではないと思う。唯一心配なのが、東海地震での津波被害だと思う。港に近い地域が市街地となると、拠点が機能しなくなり、街全体がだめになっていくのではないかと不安です。
73-4				○その他	今回、静岡市都市計画のことについて聞いたことは良い経験になりました。私は将来も静岡市に住み続ける予定だから、自分の住む街を住みやすい街にしてほしいと思うし、それと同時に、自分でももっと考えたいと思いました。市役所の仕事に興味をもてるお話でした。
74-1	女性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市の中でも葵区、駿河区、清水とおおざっぱに別かれて目標が設定されている。目標や理念はいいが通っているが、全て実現は難しそうだと思います。
74-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型の都市が完成されたならば、高齢者にとっても。私達若者にとってもとても住みやすいと思います。しかし、バスにしても、電車にしてもそれを実現する上で、皆が毎日利用する場合を考えた料金設定やゾーンごとに幅広い年齢層の人を集客するなど実現するために次の一手を事前に考え同時に進めていくべきだと思います。
74-3				○区別構想について	それぞれのエリアごとに色々なアイデアがあると感じました。私は葵区に住んでいるのですが、私が住んでいる地域よりも上の地域では高齢者だけの集落もあります。そういった奥静での観光を考えるのであれば、まずはその地域のことを私たち若い世代がよく知る必要があるように思いました。しかし、地元で住む私達がそれを知るにも個人で何かを行うのは難しいです。そういったことに若者の興味を呼びこむためにも、県や市で学生向けのイベントなどをひらき、多くの人に知ってもらい取り組みをやってもらいたいと思いました。
74-4				○その他	—
75-1	男性	静岡市清水区	—	○まちづくりの理念と目標について	都市化という中でも、ただ都会のように建物を建てるのではなく、静岡市に持っている自然も利用する共生したまちづくりというのは静岡市にぴったり合っていると思う。その中でも、都市化において、安心安全というのは最も欠かすことのできないものだと思う。
75-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型都市構造を実現することで、街中で生活したい人から、自然に囲まれた地域で生活したい人まで、幅広いライフスタイルが生まれるということで、自然に恵まれた静岡市はこの構想に適した地だと私は思った。そのためには交通の分野を充実させる必要があると思う。
75-3				○区別構想について	地図で見ると、それぞれの地域に適した軸となる分野があることがわかる。特に静岡市には、都市・地域・産業・観光のそれぞれの分野で拠点になり得る場所があるので、やはり交通を充実させることで、まちづくりが進むのではないだろうかと思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (23/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
75-4				○その他	私は自分の住むこの静岡市をこのようなゾーン分けをして客観的に見たのは初めてだったが、こうして見てみると、都市化というまちづくりに適した土地であるのではないかと感じたし、なにより都市計画に興味を持った。
76-1	女性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	駿河区の目標の「若い力を活用したまちづくり」に関して、駿河区に住んでいる者としても、若い人の力を感じる事が少ないので良い目標だなと感じたのですが、具体的に若者にどのような事を求めているのか教えていただきたいなと思いました。いろいろな世代の交流も、今の時代なかなか簡単なことでは無いので住民として私たちも良いアイデアを出していけたらと感じました。
76-2				○集約連携型都市構造について	利便性と共に自然も大事にするような理にかなっている近未来的なイメージで素敵だと思いました。ただ街に人口やお店を集約することによって、街周辺の地価や物価、家賃等が高くなって、予定していた所とは別の場所がベッドタウン化してしまっただーナツ化現象が圏内・県外を通じて起こってしまう可能性はあるのか疑問に思いました。
76-3				○区別構想について	区別で構想することによって、その地に必要なものやことが明確になるので分かりやすく良いなと思いました。ただその分、区通しのつながりも強くしていく必要があると思いました。その連携が強くないと、何か物事をすすめる際に大きな壁や問題が起こり、物事がスムーズに進まないと思うからです。
76-4				○その他	正直、私も含めてこれから市や県を担う若者は特に「無関心」である人がとても多いように感じます。授業中、サイレント問題を説明していただきましたが、マスタープランを進める際にその無関心な人々にもこれからの市について考えてもらえるような、何か良いインセンティブがあったら良いなと思いました。それと同時に自分達が住んでいる所なのだから、そんなインセンティブがなくても一人一人が興味を向けるべきだとも感じました。
77-1	男性	藤枝市東町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	目標を設定した上でそれが達成可能なのか、ただきれいごとを並べるだけでなければいいと思う。
77-2				○集約連携型都市構造について	都市に色々集めて生活を便利にするだけでなくその上で残った自然部分を有効に使う所などいいと思う。
77-3				○区別構想について	区それぞれで目標などを定めてそれを実現していくのはいいが、区によって成果に差が出てしまうと、だめだった区をどうするのが大事だと思う。
77-4				○その他	—
78-1	男性	藤枝市時ヶ谷	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	大都市のまちづくりを目標として他の発展している都市を真似するのではなく、静岡に合った都市づくりを目標としてやっていくべき。他の大都市とは少し変わった都市をつくることで人口の減少が少しでも減るかもしれない。
78-2				○集約連携型都市構造について	集約することで利便性が高くなると思うが集約しすぎると隣との距離が近くなり、騒音問題などの近隣トラブルが多くなってしまいう可能性があるのではないかと感じた。また防災の面でも1つの建物が壊れると周りの建物への影響がでてしまう気がする。
78-3				○区別構想について	区ごとに産業の特色や生活習慣の違いがあるので区ごとその区に合ったまちづくりを行うべきだと思う。区ごとにメリハリをつけていった方がいいと思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (24/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
78-4				○その他	静岡の中心市街地の近くに自動二輪も置ける駐輪場を増やしてほしい。
79-1	男性	静岡市駿河区	10 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	少子高齢化や人口減少をしている中で、まちをよくするには地域住民が協力していかなければいけないと思うので区に合ったまちづくりをすることは良いと思いました。
79-2				○集約連携型都市構造に ついて	様々な拠点を作ることで機能や役割が異なるため様々なライフスタイルができることは、自分に合った生活を選べるので良いと思いました。
79-3				○区別構想について	区別構想でその区に合った、海や歴史などを利用して活性化させることは良いと思いました。スムーズな交通化が成功できると都市が発展すると思います。
79-4				○その他	コンパクト化をしたときに、徒歩、自転車が増えると自転車と歩行者の事故が増えてしまうのではないかと？歩行者、自転車専用道路を増やした方がよいと思いました。
80-1	女性	御前崎市御前崎	10 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	若い力を活用することは、世代別のつながりを持てるということです。今までの地域文化や町の歴史をつなげることができると思いました。
80-2				○集約連携型都市構造に ついて	私は昨年のゼミで静岡市の防災について学びました。そこで出てきたのが市民を守ることはできても市外から来る人々まで引き受けるとキャパオーバーになってしまうようなことでした。集約する都市をするならより多くの市外の人々が同じところにとどまると思います。防災についてももう少し書いて欲しかったです。
80-3				○区別構想について	ライフスタイルの①②において、地域性が出るのだろうかと思いました。私は高い建物や密集する建物の朝をさみしく思います。便利さはとても良いです。アクセスが良いことは、新しい地域のものを見つける機会があります。
80-4				○その他	私は今まで近所づきあいの強い所で住んできました。アクセスはすごく悪いですが、それでもとても良い所です。だから市外の人として大きなものが静岡市に集まると不便です。
81-1	女性	焼津市三ヶ名	20 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	静岡市のまちづくりの目標に「若い力を利用したまちづくり」があるが、若い人が静岡に住みたくするような政策が必要だと思います。今の静岡では、若い人からすると魅力が少ないのかなと思います。高齢化も重要な課題だが、働き手である若者が暮らしやすい静岡になってほしい。
81-2				○集約連携型都市構造に ついて	集約連携型都市構造について説明されてまず思ったのは、今の静岡もある程度当てはまっている、と思いました。道路や建物の整備などは必要だと思うけれど、大きく変えるほどではないかなと思いました。
81-3				○区別構想について	都市部分が便利なのは前提だとして、郊外ももう少し交通の便が良くなるといいです。バスが1時間に1~2本しかないので、私は地元でバスを利用したことがありません。車がない人が不便にならないように工夫する必要があると考えました。
81-4				○その他	静岡県民ではあるが、静岡市には通学しているだけなのでピンとこない部分もあった。静岡市だけでなく県全体の問題として考えるべきだと思いました。
82-1	男性	駿河区富士見台	10 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	人口が減少するといわれ続けているのでそれに対する対策が必要だと思う。マンションを多く建てるよりもショッピングモールをたてた方が人は増えると思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (25/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
82-2				○集約連携型都市構造について	静岡市は全国でも自転車の利用者数が多いため無理に駅周辺に固める必要はないと思う。駐輪場の数を増やす必要もあると思う。
82-3				○区別構想について	自分が住んでいる駿河区は最近東静岡駅周辺が活性化しているのでそこを利用していきべきだと思う。そうすることによって人口増加もするのではないかと思う。
82-4				○その他	これから人口が減少していく中で、人口をこれ以上減らさないようにするのが重要だと思う。
83-1	男性	富士市伝法	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	拠点地の近くにもっと多くの交通の便を増やしていければスムーズになる。
83-2				○集約連携型都市構造について	自然災害が起こった時に、集約型連携都市だと周りに色々なものがあるので便利。
83-3				○区別構想について	自転車で移動できるのは便利だが、置くところが少ない。
83-4				○その他	—
84-1	男性	伊豆市修善寺	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	バスがほぼ時間通りに来ない。来たとしても遅れたのを謝まらない。人としてのスキルアップもまちづくりに必要なのでは。
84-2				○集約連携型都市構造について	目的を持って行動できる様になるかもしれない。カテゴリーで分かれているので場所も分かりやすい。
84-3				○区別構想について	自転車で移動できるのはいいが、停める場所が少ない。また、道も人と区別した場所が少ないので危険である。
84-4				○その他	—
85-1	女性	—	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	誰もが暮らしやすいと考えるまちをつくっていかれたらと思います。
85-2				○集約連携型都市構造について	静岡市でこの集約連携都市構造を目指していけば、減少傾向にある静岡市の人口も安定していくのではと思うし、誰もが住みやすいと感じることが一番大切だと思います。
85-3				○区別構想について	区ごとに問題点は違うと思うし、その区ごとの構想をもつことは、細かなところまで目が向けられると思うので良いと思う。
85-4				○その他	—
86-1	女性	—	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	街に住みたい人、田舎に住みたい人、それぞれのニーズにあった居住空間の種類を選択できるようになっているのは素晴らしいと思う。
86-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型都市構造では、市街地外の自然はそのまま環境を守ることができているので良いと思った。公共交通を充実させることでより多くの人が集まるようになると思う。
86-3				○区別構想について	区別構想では、その区の特徴を生かした構想を練っているのが良いと思った。
86-4				○その他	—
87-1	女性	島田市伊太	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	子どもからお年寄りまで安全で安心して暮らせる町にするには、もっと段差を減らしてほしい。また、道を聞かれることもある。私は静岡市民ではないので聞かれても答えられず、地図など設置してくれたら嬉しい。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (26/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
87-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型都市構造が実現したらとても住みやすくなると思う。私は都会より田舎の方がおちついていて好きですが、やっぱり都市にでないと買えるものも少ない。しかし、都市に出てくるまでバス代が少し高いような気がする。
87-3				○区別構想について	暮らしの拠点が近いし、5km内にみどりや歴史的景観など見ることができる。自然と共存が実現できれば魅力的な町になると思う。
87-4				○その他	その町の良い所をもっと生かしていけたらいいと思う。静岡の人口が減ってしまうのも、静岡で仕事がなかったり活気がないから、外へ出ていってしまう人もいるのだと私は思う。企業を持ち上げるイベントをつくってほしい。
88-1	男性	葵区大原	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	正直、全ての年代の人を対象に入れることは無理だと思う。どういった人のための町にするのかを明確にした方が良く思う。
88-2				○集約連携型都市構造について	バス、電車等のアクセスが発達することだったが、どちらもクレームが全くこないということがないため対策をした方が良く思う。
88-3				○区別構想について	エリアごとに分けてしますと、専門的なことができなくなることが予測されるため、がっつり分けない方が良く気がする。スペシャリストより、アナリスト。
88-4				○その他	自分は静岡の町中の駐車場でバイトしているため、感じたことだが、無料の駐車場は害悪でしかないと思う。無料の所がいっぱいになると、有料の所でクレームになるため迷惑。
89-1	女性	—	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	子供からお年寄りまで、全ての人がくらしやすいまちをつくってほしい。
89-2				○集約連携型都市構造について	集約するのは良いと思うが、そこまでの交通費が高い。そうすると自分の家の近くに集約してくれるとうれしいと思ってしまう。結局街に住まなければ便利じゃない気がする。
89-3				○区別構想について	コンパクトな街を作り、歩きと自転車が增えるのであれば徒歩の道と自転車の道を分けてほしい。
89-4				○その他	—
90-1	女性	—	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	どんどん都市化していく世の中で、人と人との関わりをもっと増やしていき、交流の多いまちにしていってほしいです。
90-2				○集約連携型都市構造について	駅、バス停だけではなく家や、ショッピングモール、自然なども集中して一つの場所にあれば移動も楽であり、行き来する費用もあまりかからないと思うので良いと思いました。
90-3				○区別構想について	その区について、それぞれ課題があると思うのですが、それを区ごとにしっかり考え、良いところも悪いところも大事な意見としてほしいです。
90-4				○その他	—
91-1	女性	—	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡の人口グラフをみて自分たちの世代が40、50才になったとき、85才以上の人たちがとても増加していておどろきました。どの世代の人たちも住みやすい町になるのは、私もなっていってほしいなと思いました。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (27/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
91-2				○集約連携型都市構造について	市民生活に必要な都市機能を中心に集約して、その外側の地域の歴史や自然資源を守っていくというのは、とても便利だし、自然を守ることもとても良いことだと思います。私が住むとしたら、③の駅周辺やバス利用圏利便性の高い居住に住みたいと思いました。
91-3				○区別構想について	葵区、駿河区、清水区、それぞれの区の良いところを活かし、その区によって利便性が変わるというのは、いいと思いました。港に近い地域には、それを活かす町づくりをし、改善点は改善していけたらいいと思いました。
91-4				○その他	私が住みたいのは、③の駅周辺やバス利用圏で多様な居住です。理由は、①のようなところは、人が集まり過ぎて、少し生活するのはきゅうくつになってしまうのかなと思うからです。③のような①に行く手段が確保されているそのくらいがちょうどいいかなと思いました。
92-1	女性	焼津市	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡市は県の象徴といえる都市だから、発展することが良いことだと思う。まちづくりによって整備されればもっと住みやすい環境になるし、居住区や田園区が確保されていることも良いと思う。
92-2				○集約連携型都市構造について	公共機関で発展都市をつなげることが良いと思うけれど、高齢者がそういった都市から離れて住んでいる時、その機関にすら行けない可能性はどうか気になる。若い人や都市にばかり利便性を与えて、田舎と都市でさらに差が生じないか不安。
92-3				○区別構想について	自然調和ゾーンに住みたいと思っていても実際に住むとしたら利便性の高い市街地に住む人が多いと思う(通勤、通学など)。自然調和だからといっても交通機関はある程度充実させてほしい。区別で具体的に目的や計画を持っていて、小回りがききそうなことはとても良いと思った。
92-4				○その他	自分が住みたいと思ったのは④です。中心部の方が移動も楽だし、あこがれるけど雑音や光で落ちつきないし、公共機関以外の移動ができなくて住むには大変そうだと考えたからです。かと言って「ゆとりある」と言っても将来的に(交通などで)不便な点が出てくるかもしれないと思ったからです。
93-1	女性	静岡市葵区	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	人口減少が起きつつある今、何らかの形で発展するための開発を行うことはよいことだと思う。かといって全てを開発するわけではないので発展と保全を両立することができると思う。
93-2				○集約連携型都市構造について	市街地に都市機能を集中させ、市街地の自然環境の保全をするというアイデアはとてもよいと思う。ただ農業や林業に携る人が少なくなる中、市街地外が過疎化するのではないかと思った。
93-3				○区別構想について	小学校の周りを暮らしの拠点を置くなども考えられていると感じた。居住の誘導や開発の抑制をいかに住民が納得できる形で行えるかが問題になると思った。
93-4				○その他	静岡市に都市計画があることを今回初めて知った。この計画がもう少し周知される必要があるのではないか。
94-1	女性	沼津市千本中町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	中心部に人が集まり過ぎても、災害にあったら防災面を強化しておかないと被害が増えるだけだと思う。それに農業が弱体化してしまったら経済面で落ちこむ部分があると思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (28/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
94-2				○集約連携型都市構造について	町中は歩いて移動できても、郊外からくる人が車が多い、有料駐車場は郊外に比べて割引対象金額が高いと思う。これではゆっくり買い物をする事もできない。1000円で30分、2000円で1時間などの方が利用者も過ごしやすく、購買力も増えると思う。
94-3				○区別構想について	区によってそれぞれ街中、沿岸部など住んでる場所が違ければ、生活自体も違うと思う。住んでいる人の生活にあった政策が必要だと思う。
94-4				○その他	—
95-1	女性	焼津市小土	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	私は今回のお話を聞いて初めて都市計画マスタープランというものを耳にしました。政令指定都市である静岡の人口の減少は著しく目を背けてはいけない問題であり、また地域住民が主体的に地域のまちづくりに参加できる点も魅力的だと感じられました。私としては特に地域の声を反映してくれる点が良いと思いました。
95-2				○集約連携型都市構造について	自動車に依存せず交通利便が高い地区、自然環境の保全をはかり市の観光や経済をけん引する拠点のゾーンと2つのゾーンを作るという着眼点はとてもおもしろく感じられて新鮮でした。ライフスタイルを個人がそれぞれ選択して居住できる点も良いです。
95-3				○区別構想について	まず地域の人々の意見を取り入れて作られている点がとても良いと思います。私は骨子案に載っていた3区に住んでいないため、自分が住んでいる所はどんなだろうと気になりました。外から来た人や引っ越しをした人は居住ゾーンを選択して住めますが、現在住んでいる人々の扱いが疑問です。
95-4				○その他	現在、静岡市が経済情勢や市を取りまく社会についてどのようなことを考えているのか一部でも知れたということが嬉しく、今回の講演はとても有意義なものでした。私自身、市役所に勤めたいと考えているため、とても貴重な市役所の意見が聞けて良かったです。
96-1	男性	三島市富士ビルレジ	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	安全な町づくりという点に関して、自動車をできるだけ必要ない町にしようというところが、とても良いと思いました。とくに高齢者が増えていくにつれ、交通事故の危険も増すと思われるため、ぜひそのような町にしていってほしいと思いました。
96-2				○集約連携型都市構造について	公共交通機関で必要な都市機能をつなぐことによって、自動車に依存しない構造にしようということはとても良い案だと思いました。自動車によるCO ₂ の排出の軽減だけでなく、交通事故の減少にもつながり、一石二鳥だと思いました。
96-3				○区別構想について	スポーツなどの地域資源をつなぐ、公共交通の充実した町づくりという点に関して、僕たち大学生にとっても、とても助かると思いました。僕たちサークルでは活動場所まで徒歩で30分歩いており、その区間をバスなどでつないでいただくと、とても嬉しいです。
96-4				○その他	都市計画マスタープランというものがあるということ自体、今回の講義ではじめて知りました。集約化について、多くのメリットがあることも分かりましたが、それと同時に、集約化された周りはどうなってしまうのかなど、様々な問題があり、とても難しい問題であると思いました。
97-1	女性	藤枝市茶町	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	集約連携型都市を目指し住みよいまちをつくる事ができれば、人口の減少・市街地の拡散等の問題は改善されると思う。住んでいる人が住みよい町だと感じる場所なら、人が集まると思う。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (29/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
97-2				○集約連携型都市構造について	環境・健康面を考慮すると、現在の自動車に依存した都市構造は問題であり、集約することによりそれを改善しようとするのはよい考えだと思う。
97-3				○区別構想について	区別構想では、その土地に住む人が何を重視し求めるかが方針や目標を決定づけ、安心・安全で利便性のあるまちづくりの要素は欠かせない。しかしそれだけでは個性の無いつまらないまちになってしまう。それ以外に土地の魅力や人間味という要素を加えているのはよいと思う。
97-4				○その他	—
98-1	女性	富士宮市	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	・市民の意見をもっと簡単に出せる様に(取り入れられる)環境、場所を作ってほしい。・バリアフリーをもっと目を向けてほしい。(駅などではよく見かけるが、大型ショッピングモール etc)・高齢者だけではなく若い子供も皆すみやすい町に。・市役所や図書館でボランティア・アルバイトなどの求人について発信をしてほしい。(しているなら、もっと発信して教えてほしい。どこに行ったらいいのかわからない。)
98-2				○集約連携型都市構造について	・①街なか居住は若い世代の人々にとってはすごく楽しそうで便利だと感じたが、高齢者にとっては、若い人々が住む分、うるさかったり、緑も少なく嫌なのではないかと思った。中々そういう所に住むとなると、家族のことを考えるとしたら厳しいのではないかと。②、③くらいが、通勤や何にしてもぶなでいい気がしてしまった。
98-3				○区別構想について	・区別構想については、とても便利であると感じました。しかし、その分利便性の高い市街地に緑が多いなんてきたことはあまりないが、もっと何かないのだろうか、と思う。 ・ゆとりある市街地に住みたいと思った。あまりにも派手だと疲れてしまいそう。
98-4				○その他	防災について、地震についてもっと沢山どうしたらいいか発信してほしい。
99-1	男性	静岡市清水区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	高齢者が増える静岡市の対策は近ごろとても目に見える形であらわれていると思う。東静岡周辺のマンション、お店、マークイズ。清水駅周辺のお店の増え方など。これらは市民としてはとてもありがたいものだと思います。
99-2				○集約連携型都市構造について	電車や公共交通機関を使うことをメインにさせるのはいいことだが外に出づらい人(お年寄)も不自由なく移動ができるような工夫が必ず必要だと思う。路線の数や価格など、自分たちがつかいやすいようにしてほしい。
99-3				○区別構想について	区の境目が正直わからない。また、防災エリアなどもいまよくわかっていない。自分の無知さと広がり方の少なさが原因と考える。防災とかは、もっとたくさん知る機会がほしい。
99-4				○その他	静岡はとても住みやすい町だが、僕らの年代はみんな東京などに行ってしまう。やはり大学の数が少ないためではないかと考える。若者に静岡での進路選択の幅を広げさせてあげてほしい。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (30/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
100-1	男性	静岡市駿河区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	未来を見据えたまちづくりというのは重要であるし、今を生きる以上未来に生きる人のためにより良いまちにしていかなければならないと思っているため、大変良いと思った。
100-2				○集約連携型都市構造について	車での移動が主流になっているのは確かなので公共交通機関の利便性が増えること、生活したいライフスタイルを選ぶことができること想像しやすくわかりやすいと思った。
100-3				○区別構想について	区によって特色があるのは確かであるし、それをのばすということは生活しやすさにつながると思うので進めていくべきだと思った。
100-4				○その他	—
101-1	男性	焼津市中根	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	静岡が抱える様々な問題を解決することは、とても重要だと思います。より住みやすい静岡となっていくことを期待しています。
101-2				○集約連携型都市構造について	都市部や山間部など、その土地の特徴をいかして、市民のニーズに合わせた土地利用をしていくという考えは人口減少に歯止めをかけられると思いました。
101-3				○区別構想について	各地区ごとに抱える問題などは異なると思います。区ごとに分けることは、その地域の土地柄や産業等の整理がしやすくなり、見通しが立てやすくなると思いました。
101-4				○その他	—
102-1	男性	焼津市越後島	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	駿河区のまちづくりの目標として「若い力を活用したまちづくり」ということで全国的にも高齢化が問題となっているなかで、若い力はどこの地域も重要なこと。学生の意見をもっと活用して、自分たちもまちづくりのイベントに参加しなくてはいけないと考えました。
102-2				○集約連携型都市構造について	都市機能を充実させる拠点は、公共交通でつなぎ、自然を生かすためにもゾーンの形成が、これからの高齢化社会へいい利便性が働くと感じた。
102-3				○区別構想について	区別構想の目標として「安心、安全」がありこれから東海地震に向け避難場所や危険な場所を認知しておくことが大切と感じた。
102-4				○その他	—
103-1	男性	伊豆市柏久保	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	・都市開発を実行しながらも自然との調和をめざす。 ・土地の有効活用。
103-2				○集約連携型都市構造について	団塊の世代が多くなってきて、自転車でのアクセスというのが難しくなっている。そういった高齢者のためにも公共交通機関を充実させるのは良いと思った。
103-3				○区別構想について	防災に対する意識が低いと思う。東海地震に備えて、地域ごとに防災マップをつくったり、緊急避難場所の確認などを徹底するべき。
103-4				○その他	—
104-1	男性	静岡市葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	バスの数を増やすことも大切だと思うが、街を自転車で移動していけるように整備していくこともいいと思う。駅やバス停の近くに自転車レンタルの店をつくり、車への依存をへらしていく。
104-2				○集約連携型都市構造について	街への交通をよくし、街についたあとの行動手段をよくしていく。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (31/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
104-3				○区別構想について	暮らしの拠点と、都市の拠点がわかることで人口がへらないようになる。
104-4				○その他	—
105-1	男性	菊川市本所	10歳代	○まちづくりの理念と目標について	・「人と自然」「都会と自然」が共生したまちづくり ・「絆」「安心・安全」をキーワードとした住民主体のまちづくり 人や自然を守るために排気ガスを排出する車などはさげたい。
105-2				○集約連携型都市構造について	自動車を多用する社会になっているが、もう少し歩道の整備をねがいたい。だが、この説明をきいて「集約連携型都市構造」について良いなと思った。人口が減少していくなかで互いに助け合うことは必要。
105-3				○区別構想について	防災に対する意識は比較的、他県よりたかいと思うが、それなりの対応をしているかという疑問である。もっと呼びかけが必要かなと思う。
105-4				○その他	—
106-1	男性	御前崎市池新田	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	共通した目標として学生にも関連する交通の利便性について、スムーズな交通ができることを個人としても行なってほしい。
106-2				○集約連携型都市構造について	非常にいい考えだと思う。この実現に向けて構想だけで終わらず積極的な行動に移してもらいたい。リスクとして安全性の向上も高められるとなお良い。
106-3				○区別構想について	区ごとのくわしい構想はよいと思う。最終的に静岡県全ての地区がこの区別構想を詳しくできるとよい。それを住んでいる私達が生かすことが重要である。
106-4				○その他	公務員を目指す者として貴重な話をきくことができよかった。
107-1	男性	焼津市石津	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	まちづくりをすると、当然良い町作りをする上で思いきって壊すことも大切になると思うのでより多くの意見が必要ですね。
107-2				○集約連携型都市構造について	集約すると防災対策が重要となると思います。確かスイスの調査で世界の危ない都市ナンバー1が東京と横浜で、理由が人口が密集しているからだだったと思います。(違ったらすいません)効率性と安全性のバランスが取れればとてもいいと思います。
107-3				○区別構想について	土地柄があるので細かく区別するのは良いなと思います。そうなるとう得意不得意があるのでそこをしっかりと把握することが重要だと思います。
107-4				○その他	バス間隔をもっと縮小してほしいです。(時間)

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (32/42ページ)

【一般からの意見】

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
108-1	男性	駿河区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	理念はいいですが、目標に優先順位がなく、八方美人な印象を受けました。結局何を最優先にするのかが分からないと、目標達成の指針として弱いのではないのでしょうか。全体的な個々の要素には共感できました。
108-2				○集約連携型都市構造について	各中心部拠点やゾーンのキャラクターを明確にした方が、より面白い町になって行くと思います。現状を生かし、強化する等の手法を打ち出して、活発に人々が行き来する、したくなる様な「わくわく感のある町」にして頂きたいです。その為にも南北交通や、毛細的な交通網への具体的提案等がほしいところです。
108-3				○区別構想について	各区共に目標、方針共に抽象的で分かりにくく、どうなって行くのかが想像出来ない。理念がもう一回出てきた印象で、もう少し具体性がほしい。そう言う意味で清水区が1番わかり易かったです。防災関連の具体的方針、目標があるとさらに良いと思います。
108-4				○その他	大まかな流れは理解できますが、抽象的でぼんやりした印象を受けました。イメージし易い、いくつかの柱になるような地名や施設・他計画との関連等を掲げる等の工夫をすると、「まちづくり主体となるの住民」が理解しやすく、パブリックコメントに参加しやすいと思います。補足ですが、全体的に図面が小さく印刷や拡大しても見えにくく、読むのが大変でした。
109-1	男性	駿河区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
109-2				○集約連携型都市構造について	集約した都市への移動手段を確実にしないと現状と変わらない自動車に依存したものになる。都市部に住む人はいいが、郊外に住む人不便になる。
109-3				○区別構想について	公共交通と言えども民間会社のバスしかないなか、新たに市営バスを検討していくのか。
109-4				○その他	—
110-1	男性	葵区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
110-2				○集約連携型都市構造について	現況の生活状況より判断した都市拠点・地域拠点等、妥当だと考えられます。ただし、まったく新しい方向性で検討(各拠点等含む)を進めなければ、活性化は生じないのではないかと思います。
110-3				○区別構想について	「安全で安心して暮らせるまちづくり」は、自然災害や交通政策に対して必要不可欠なことだと考えられます。各地区における取組方針を示す必要があるのではないかと思います。
110-4				○その他	—
111-1	男性	葵区	40歳代	○まちづくりの理念と目標について	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (33/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
111-2				○集約連携型都市構造について	・都市の中心部に、都市機能を集約させるのは、現状の土地利用(中心部には既存の建物が多い)を考えると難しいのではないかと。 ・現状は、中心部に集約していないため、都市構造を変更しようという考えだと思うが、都市構造とは具体的にどのような施設を考えているのか。
111-3				○区別構想について	各区ともに現状の土地利用形態と計画案のゾーン区分があまり変わっていないように感じる。P. 7で示すようなイメージ図で、集約させるエリアの大きさはどの程度を想定しているのか。
111-4				○その他	・三保地区は観光拠点として力を入れていくように思われるが、市街地ゾーンと併用させるのは、集約化の点を考えても問題があると思います。(ある程度、観光利用に絞った方がよいと思う) ・東静岡駅前、拠点として考えているが、民間施設が乱雑に建設されている。どのような考えなのか教えてほしい。
112-1	男性	—	40 歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
112-2				○集約連携型都市構造について	—
112-3				○区別構想について	駿河区における「暮らしの拠点」のイメージ(P18)として、敷地周辺、下川原周辺とありますが、東日本大震災以降、沿岸部の地価下落、人口減少傾向が伝えられているなかで、概ね 20 年先を目標とした構想として、実状にそぐわないのではないかと疑問に感じました。
112-4				○その他	—
113-1	男性	—	40 歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
113-2				○集約連携型都市構造について	P10-⑤では自然環境の保全はもとより、自然環境の中での居住ニーズへの対応も必要ではないか。P12-「都市交通(公共交通)」にLRTを位置づけるべきではないか。
113-3				○区別構想について	P19~20 観光レクリエーション拠点は、三保半島のみならず、日本平も包含すべきではないか。 P16「自転車や歩いて回れる」より「自転車や徒歩でも暮らしやすい」にしてはどうか。
113-4				○その他	図面内の文字が読めない。はっきり表示してほしい。
114-1	男性	清水区	—	○まちづくりの理念と目標について	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (34/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
114-2				○集約連携型都市構造について	集約型都市構造は時代の流れであるが、静岡市におけるそれがどのような型式なのかを再検証すべきではないか。東静岡地区が計画どおりになっていないことが良い例である。又、公共交通機関の利便性向上は市民の意識と合致しているのかどうか疑問が残る。
114-3				○区別構想について	マスタープランとしての表現、お題目は決まりきったものであり、区毎の特性、違いが具体的に見えてこない。
114-4				○その他	骨子案ではあるが、全てのメニューが盛り込まれている中でほんとの骨子は何かが不明確である。マスタープランと言えども、優先順位があっても良いと思う。10年～20年サイクルで見直すならば、理想論ではなく、もう少し現実を見据えた実現性に視点を移してはどうか。
115-1	男性	—	—	○まちづくりの理念と目標について	—
115-2				○集約連携型都市構造について	中心部においては、人口密度が非常に高くなり、生活しやすい環境とは言えないと思われる。その場合は郊外へ住めということか。
115-3				○区別構想について	清水区において「東海地震」の津波が懸念される中において、海沿いから避難希望者が多い中で、「海、港を中心としたまちづくり」できるのでしょうか？また造船会社が次々と潰れていく中で、人口の減少は進んでいるのでは？
115-4				○その他	少子高齢化・人口減少はここ静岡のみならず、日本全体の問題となっている。静岡市からの人口流出の具体策が一体何なのか分からない。「人々が定着して、過ごしやすい環境は何か」を模索する必要があるのではないかと。静岡は全国的にも温暖な気候に恵まれており、他県から来た人々も口々に「非常に良い所だ」という話は良く聞いている。その中でもっと魅力にあふれた市を造ってほしい。
116-1	男性	清水区	—	○まちづくりの理念と目標について	—
116-2				○集約連携型都市構造について	「集約化拠点・ゾーンの形成とネットワーク化」を推進するための規制強化、「広域基盤、歴史、自然資源の戦略的活用」を拡げるための規制緩和のスピード化が必要と思われる。
116-3				○区別構想について	現状からの改変が見えない。
116-4				○その他	—
117-1	男性	清水区	40歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
117-2				○集約連携型都市構造について	・新東名IC周辺における産業検討地はぜひ進めていただきたい。新東名開通後の企業誘致ができていないような・・・ ・若者の農業への関心は高いと思われ、自然調和ゾーンにおいても一定規模の宅地開発があれば、移住先として考えるのでは？

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (35/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
117-3				○区別構想について	・葵区:公共交通軸としてLRTの導入が必要であるとする。バスでは渋滞等により遅延がある。 ・清水・駿河区:日本平、久能は観光として良い材料であるが、街中からのアクセスがいまいちであるため、交通網の整備が必要であると考える。
117-4				○その他	・マニュアル通りのコンパクトシティといった感じが否めない。”静岡市ならではの”という発想がほしい。 ・線引き制度についても検討が必要である。
118-1	男性	駿河区	—	○まちづくりの理念と目標 について	—
118-2				○集約連携型都市構造に ついて	本市には、南アルプスという自然資源があるが、アクセスの悪さ等で活用されていないし、住民の意識も低い。他の公共団体や企業と連携し、ヨーロッパのアルプス的なゾーン形成も考えてほしい。
118-3				○区別構想について	新東名より北側にも考えを伸ばしてほしい。
118-4				○その他	—
119-1	男性	駿河区	—	○まちづくりの理念と目標 について	—
119-2				○集約連携型都市構造に ついて	自然的資源、歴史的資源を十分に生かしたゾーン形成とそれぞれを結ぶネットワークの構築することが大切だと思う。
119-3				○区別構想について	静岡市は防災について、強いとはいえない難しいと思われませんが、工業地帯と住居地区の区分や緩衝帯の設置を行い、被災を少なくし復旧を速めるような都市計画をお願いしたい。
119-4				○その他	—
120-1	男性	駿河区	—	○まちづくりの理念と目標 について	—
120-2				○集約連携型都市構造に ついて	資料のイラスト図はわかりやすいが、例として俯瞰写真等を使って、より現実味のある様な説明資料があるとよいと思う。
120-3				○区別構想について	大きな工場と住居を区分するだけが良いとも思えない面があり、町工場など中小企業と商店や住居の混在する地域に町としての活気があったりすることも留意してほしい。
120-4				○その他	—
121-1	男性	駿河区	—	○まちづくりの理念と目標 について	—
121-2				○集約連携型都市構造に ついて	普段車を利用することが多いので、道路網に目がいきますが、公共交通(バス、電車等)の充実が大切だと思います。また、自転車が走りやすいことも必要だと思います。
121-3				○区別構想について	—
121-4				○その他	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (36/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
122-1	男性	葵区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	急激な人口減少社会の中で、いかに人口を維持してゆくかが重要だと思いますので、理念・目標ともに良いと思います。
122-2				○集約連携型都市構造について	市のこの考え方を広く市民へ周知して理解を深めてもらう事が重要だと思います。
122-3				○区別構想について	各区の特色を生かした構想になっていると思います。各区のキャッチフレーズ的なものがあると良いと思います。
122-4				○その他	各行政ともに、いかに人口減少を食い止めるかが重要なテーマかだと思いますので、若者に魅力あるまちづくりの推進を希望します。
123-1	男性	駿河区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	「成長・拡大」から「成熟・持続可能」は現状に即した考え方だと思います。
123-2				○集約連携型都市構造について	静岡市が目指しているまちが分かり易く描かれていると思います。各ゾーン毎のライフスタイルが分かり易かったです。
123-3				○区別構想について	各区、それぞれ特色があって良いと思います。暮らしの拠点を結ぶ交通軸が今後重要だと感じます。
123-4				○その他	—
124-1	男性	駿河区	40歳代	○まちづくりの理念と目標について	時代の流れが早くなっているので、20年間の長期的視点だけでなく3~5年の短期的な視点も必要と思います。
124-2				○集約連携型都市構造について	静岡市の長所を生かすネットワーク化を期待します。また高齢者が住み易い環境づくりも必要と思いました。
124-3				○区別構想について	駿河区には海や日本平など、自然豊かな観光資源が多くあると思いますので、自然環境を売りにした構想もありかと思いました。
124-4				○その他	—
125-1	男性	葵区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	まちづくりの目標が様々な視点から形成されており、大変良いことだと思いました。
125-2				○集約連携型都市構造について	ゾーンを分けることにより、様々なライフスタイルを合わせることが良いと思いました。
125-3				○区別構想について	「集約連携型都市構造」がわかりやすく記載されており、良いと思いました。
125-4				○その他	—
126-1	女性	葵区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	「安全・安心・快適に暮らせるまちづくり」については是非、実施してほしいと思いました。
126-2				○集約連携型都市構造について	各地区に特色が付き、良いと思います。
126-3				○区別構想について	各区での、役割が方針に反映されており、良いと思いました。
126-4				○その他	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (37/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
127-1	男性	—	40 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	持続可能なまちづくりの為に重要
127-2				○集約連携型都市構造に ついて	是非ともとりまなければならない施策
127-3				○区別構想について	—
127-4				○その他	—
128-1	男性	—	—	○まちづくりの理念と目標 について	とにかく地震や津波から人命を守るまちを作ってほしい。
128-2				○集約連携型都市構造に ついて	ここ数年、コンパクトシティという言葉が聞かれますが、集約連携型都市構造というのは、それと同じか近い内容なのでしょうか。
128-3				○区別構想について	歴史や港、商店街など、区毎の個性を活かしたまちを作ってほしい。
128-4				○その他	—
129-1	男性	—	50 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	理念は良いと思います。目標もこのような感じかと。ただ、問題はいかに実現するか、それが重要だと思います。
129-2				○集約連携型都市構造に ついて	コンパクトシティづくりは、時代の要請だと思います。しかし、7ページの下のようなイメージを実現するためには、人に移住してもらわなくてはなりません。それに、新たな過密・過疎を招くことにはならないでしょうか。
129-3				○区別構想について	「暮らしの拠点」が多く設定されていますが、生活利便施設などが今後も集積した所としていくための方策はあるのでしょうか。
129-4				○その他	全体にみやすく、良くできていると思います。都市計画部の方達だけでなく、他に部門の方達とも協力してまちづくりを進めていって欲しいと思います。
130-1	男性	葵区	20 歳代	○まちづくりの理念と目標 について	—
130-2				○集約連携型都市構造に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・都市防災の点で、南海トラフによる津波想定に対しどんな対策をしていくのか明確にしてほしい。 ・公共交通のネットワークを充実させ、車を使わなくとも不便なく生活できる環境を整えてほしい。 ・市街地が拡大し、低密度な市街地が形成されてきたが、今後集約化されていく中で、縁辺部から中心地に引っ越し、空き地となった土地をどのように管理していくのか。 ・集約された市街地が形成され、市内の中心地の地価が高くなることは静岡市にとっては良いことだが、私の様な 20 代の若者にとっては地価が高騰、家賃の上昇により、よりまちなかに住みづらくなり、結局郊外に住むことにならないか。若者に対する居住促進対策も併せて検討して欲しい。
130-3				○区別構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が充実し、自転車や歩いて回れるコンパクトなまちづくりをどんどん進めていって欲しい。 ・清水区のウォーターフロントを活用したまちづくりと防災がうまく連携して、楽しく・安全なまちづくりを望む。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (38/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
130-4				○その他	—
131-1	女性	葵区	20歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
131-2				○集約連携型都市構造について	—
131-3				○区別構想について	「6. 将来都市構造実現に向けた戦略的な地区構想の推進」の、清水都心地区の重点地区における取組について、「人口集積に向けた取り組みや観光・交流の強化」とあるが、これらの推進をし、人口の減少を促進させないためには防災への取り組みも大事かと思われるが、防災については重点地区における取組として大きく載せないのか。
131-4				○その他	—
132-1	男性	葵区	40歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
132-2				○集約連携型都市構造について	—
132-3				○区別構想について	—
132-4				○その他	「津波浸水想定区域における適切な土地利用誘導」とは、具体的に何を想定し、どのような手法・制度で具体化していく考えであるのか。「土地利用検討区域(防災課題エリア)」は、何の課題に、何時までに何を改善することを必須とし、どのような手順・タイムスケジュールで取り組んでいく考えているか。
133-1	男性	葵区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
133-2				○集約連携型都市構造について	都市拠点のうち、東静岡はどのような役割が期待されているか。他都市拠点(21頁)のように、まちづくりのイメージが作成されているのか。
133-3				○区別構想について	防災課題エリアで、どのような対策・検討を進めていくか現時点でイメージがあるか。例えば、密集市街地の解消、津波浸水想定区域内でのまちづくり等(15頁)
133-4				○その他	・静岡で人口流出が続いている理由の1つに「地価の高さ」があると思う。 ・これに対し、対策方向はいくつかあると考えられるが、他都市より恵まれた優遇策でも用意しないかぎりこの傾向は止まらないのではないだろうか。 ・今後策定される立地適正化計画の居住誘導区域内での事業・制度、空家の有効活用など、都市側でも対策を考えていくことが必要と感じている。
134-1	男性	清水区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	—

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (39/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
134-2				○集約連携型都市構造について	—
134-3				○区別構想について	重点地区の清水都心地区について 暮らしのゾーンには、浸水想定区域が含まれていると思いますが、この区域も居住誘導地域を想定してのゾーニングなのか？津波対策を視野に入れたものなのでしょうか？清水都心地区に、桜が丘病院の立地誘導ができないだろうか？ウォーターフロントの魅力づくりも清水地区のまちづくりには欠かせないものですが、港ばかりではなく、清水駅周辺的生活サービス施設の誘導は、衰退した清水の町に人の流れをつくる有効な手段だと思えます。
134-4				○その他	集約連携型都市構造、区別構想については、将来の目指さなければならない姿であることは理解できますが、この構想の実現の為、どのように実現していくのか、それによる問題点、弊害がでてくるのではないかと考えられます。今後、立地適正化計画策定における区域指定や、さまざまな施策、制度について、市民に理解できるよう説明していただきたいと思えます。
135-1	男性	清水地区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
135-2				○集約連携型都市構造について	人口減少や少子高齢化が避けられない中で、今よりも狭い範囲に集まって生活することは必要不可欠だと思う。コンパクトになった分防災対策に力を入れる事が出来れば更に安心して暮らせる街になると思う。
135-3				○区別構想について	自分が住んでいる清水区は清水駅前が活力がなさすぎて、ほとんど行く事がない。ショッピングモールでもあれば行くと思う。三保地区の観光と防災をバランスよく進められればいいと思う。
135-4				○その他	—
136-1	男性	—	—	○まちづくりの理念と目標について	—
136-2				○集約連携型都市構造について	都市機能を集約する事により、他の地域が不便にならない様に公共交通機関の充実をお願いします。
136-3				○区別構想について	・駿河区、清水区については、海に面している事もあり津波に関して、より具体的な対策や検討をお願いします。 ・ゲリラ豪雨等による河川や水路の氾濫を防ぐ為に治水対策の検討をお願いします。
136-4				○その他	—
137-1	男性	駿河区	30歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
137-2				○集約連携型都市構造について	集約化拠点を有効点に結ぶ幹線バスが駿河区では南北には存在するが、東西を結ぶ路線が無いので、希望としては東西を結び、集約化との連結を図って頂きたい。
137-3				○区別構想について	住民主体でのまちづくりは、とても良いと思えます。特に防災面での課題等は地元住民しか解らない問題・課題があると思うので、住民主体でまちづくりを進めて頂きたいです。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (40/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
137-4				○その他	駿河区の海岸近辺に住んでいるので、もっと防災にも力を入れた都市計画をお願いします。ゾーンとしては、ゆとりある市街地ゾーンですが、津波を心配し、住民(アパート等)が減っていく一方です。よって、防災(津波)への対応をお願いします。
138-1	男性	駿河区	50歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
138-2				○集約連携型都市構造について	地域拠点である安倍川駅周辺については、公共・公益施設への案内(位置情報)を示す看板も少なく、総合病院、公共公益施設を結ぶ公共交通路線が少ない状況の中、安倍川駅、用宗駅、徳州会病院、丸子等を結ぶ「(仮称)長田地区」の将来都市構造の明確化をお願いします。
138-3				○区別構想について	ゲリラ豪雨における治水対策(丸子川150号南エリア)強化並びに丸子川河川護岸耐震調査の将来構想をお願いします。
138-4				○その他	骨子については、特に「公共交通軸」及び「暮らしの拠点」についての新たな設定に同意致しました。
139-1	男性	—	—	○まちづくりの理念と目標について	—
139-2				○集約連携型都市構造について	集約連携型都市構造および区別構想については、地域の特性を活かしつつ推進することが肝要と考えます。防災への備え・市民生活の安全確保するためにも、社会資本の適切な維持管理が必要で市民の維持管理活動参加を促す仕組み作りが重要と考えます。(清掃活動等)。さらに、高齢化が進む中においては市民の健康増進が不可欠と考えます。そのため、生活の中に健康増進に寄与すると考えられる、自転車・徒歩での移動が、楽しい・活気がある街と市民が感じられる、しつらえ(オープンカフェ・露店等)を促進する仕組みが有効な手段となると考えます。人口減少の中においては、観光産業の推進を図り活力を維持し続けることも重要と考えます。静岡空港へのアクセスの利便性の増進はもとより、宿泊施設の整備・外国人受け入れ態勢の整備等、訪れる人が、もう一度静岡へ行きたい、と思える環境整備が必要だと考えます。また、ボランティアガイド・通訳・案内所、ICT技術を活用した各種サービス等ソフト面の整備を必要と考えます。
139-3				○区別構想について	—
139-4				○その他	防災への取り組みに関して過去の災害事例等を参考に、隣近所の人との絆を育む、イベント等のソフト面の取り組みが必要と考えます。また、次世代を担う子供たちに防災・絆を教育するイベント等も必要と考えます。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (41/42ページ)

意見書番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
140-1	男性	清水区	60歳代	○まちづくりの理念と目標について	骨子案についてはよく検討されていると思います。都市計画の専門ではないですが、土木建設の見地から意見を述べさせていただきます 当市の場合、県と静岡市との連携が見えることが重要だと思います。他県、外国からの交流、訪問(観光、ビジネス)に応じる事が可能なまちづくりです。静岡市(県庁所在地)と清水(港、三保など)と有度山・日本平周辺との交通体系を都市計画の骨格の中に取り入れる。平時以外でも人口増が予測できる環境を道路、鉄道などを中心に周遊性を持って解決する事で安心してリピーターが増えることを期待します。
140-2				○集約連携型都市構造について	狙いは、評価できる。コンパクトシティとは違うが、相互の町間の連絡が容易な動線の確保を願う。機能性のある都市と住居地域の住み分けが明解で将来的に住みよい町であり安全安心を担保出来ることを目標にすることはよいことです。
140-3				○区別構想について	防災面で課題を持つ地区へは、ソフト面での公助とは別にハード面を将来的に具体的な町の姿を提案し中長期で転居など移動しやすい環境づくりを視野に入れてほしいと思います。特に指定を受けた危険地域に住む住居への配慮は中長期にわたり是正をしていきたいと思っています。
140-4				○その他	静岡市としては、イベント誘致(音楽、スポーツ、芸能など)を積極的に行いたいです。受け皿となる箱物などの整備、具体的な国際大会向けの体育館、競技場を見直したい。課以外の他部局との情報連絡によるロスのない都市、鉄道、道路計画を望みます。静岡～清水への幹線ならびに連続性のある動線、三保半島への周遊などがいつでも容易にできる環境を実現したい。三保半島先からは橋梁による流れを周遊する発想も必要と思う。時代は変わっても夢をもつことは重要と考えます。
141-1	男性	富士宮市	60歳代	○まちづくりの理念と目標について	人口減少、高齢化社会を「成熟」「クオリティオブライフ」と前向きにとらえる事は良いことだと思います。62万人に人口減少すると言っても現在の島根県全体の人口と大差ないものです。悲観的にとらえるのではなく、積極的に受け入れて、市民生活の満足度を高める事が肝要でしょう。
141-2				○集約連携型都市構造について	集約型都市構造とネットワークづくりと地域連携は、セットだと思いますが、どのように実現していくのか、その手法と市民の理解と合意形成、静岡らしいライフスタイルの提案が今後の課題だと思います。
141-3				○区別構想について	区別構想の中の清水区について、「清水港の存在価値をウォーターフロントを生かした都市空間づくり」とのみ記載してありますが、物流・交流・産業振興・海の玄関口等、静岡県内にとどまらず広域的にも貴重な存在だと思います。港の存在を生かした力強い産業観光振興で静岡県経済を牽引するぐらいの勢いがほしいかと思っています。
141-4				○その他	実現化方策は今後議論し、各種政策事業化に向かうと思いますが、「市民共同」「情報共有化」「PPP」「民間活力の友好的利用」等市民や経済界を巻き込んだ取り組みに期待します。
142-1	男性	清水区	60歳代	○まちづくりの理念と目標について	「生活の質を重視したまちづくり」を目指す考え方は、人口が減少していくこれからの時代を見据えた良い考え方だと思います。

■ 静岡市都市計画マスタープラン(骨子案)に対するパブリックコメント結果 (42/42ページ)

意見書 番号	性別	住所	年齢	設問	ご意見
142-2				○集約連携型都市構造について	人口減少社会の中で、「生活の質を重視したまちづくり」を実現していくためには、集約連携型都市構造の形成は必要と考えます。市民の抵抗があると思いますが、拠点となる地域を明確に示し、誘導していくことが重要だと考えます。また、公共交通が今まで以上に重要性を増すと考えます。静岡市は、公共交通部門がないため、市が考える公共交通計画を実現していくためには、民間事業者との連携が必要であり、公的負担が重要と考えます。
142-3				○区別構想について	防災課題エリアは、安全・安心のまちづくりのために重要と考えます。市民の批判は当然考えられますが、市が持っている課題とする情報を発信し、市民が正しい情報を得て、判断していくことが必要と考えます。
142-4				○その他	静岡市は、自転車交通に適したまちと考えます。静岡第3次総合計画(静岡市基本計画付属資料 P100 政策 4)に世界水準の自転車都市を目指す、との記載があります。この考えをマスタープランにも反映していただきたいと考えます。市内の各駅、拠点施設にレンタサイクルポートを設置し、気楽に自転車交通と公共交通を乗り継げるまちを目指していただきたいと考えます。
143-1	男性	—	60 歳代	○まちづくりの理念と目標について	—
143-2				○集約連携型都市構造について	人口減少・少子高齢化時代にあつては、集約連携型都市構造は目指すべき方向性だと思います。集約拠点性の向上とネットワーク化によって住みよい快適なまちづくりをお願いします。
143-3				○区別構想について	—
143-4				○その他	—